

認定NPO法人ぐる-ぶ藤

第 16 回(通算第 28 回)通常総会議案書

開催日： 2020 年 6 月 7 日(日)

議案書内容

1. はじめに

2. 議事審議

第1号議案 事業報告

第2号議案 決算報告および監査報告

第3号議案 定款変更

第4号議案 役員改選

3. 報告

事業計画および事業予算

4. 資料

組織図 他

5. 2019年度全体研修・部門研修・年間活動一覧

6. 災害時駆け付けMAP

はじめに

「年をとっても、病気になっても、障がいがあっても、いつまでも自分らしく暮らせる街を創りたい」を理念に掲げ、私たちの市民参加の街づくりの活動は29年目に入りました。活動を支えてくださるご利用者、ご家族をはじめ多くの温かいご支援のおかげと感謝し、認定NPO法人として社会的責任を果たしてまいります。

一番館、二番館を柱として、地域の安心・安全を支えると共に、創立以来大切にしている本来事業では自分らしく生きるためのオリジナルサービスを提供します。「ヨロシク♪まるだい」では市民同士が助け合う居場所を提案し、住民が孤立しない地域づくりを進めてまいります。

サービスを縦割りにせず、事業間の連携を図り、ご本人、ご家族にとって適切なサービスを提供していきます。スタッフの更なるスキルアップのために昨年度実施した「根拠ある介護」の学びを深め、一人ひとりのご利用者に、根拠に基づく統一した介護が行えるよう知識・技術の向上に努めていきます。

いまだ、新型コロナウイルスの世界的感染拡大がとまらず、終息の目途が立たない中、本年度は感染症拡大防止に向け、行政をはじめ医療関係者、市民協他多くの団体と情報交換、情報共有を密にし、感染症マニュアルに基づき取り組んでまいります。

ぐるーぷ藤のメンバーそれぞれが目標を持ち、働く者同士が互いに助けあい、自己実現のできる場となるよう努めると共に、多方面の方々と連携を図り、よりよい福祉の街づくりをすすめてまいります。

第1号議案

2019年度事業報告

1. 組織運営

今年度は理事長交代という大きな組織改革から2年が経ちました。引き続き会長は理事長を支え、ぐる一ふ藤の運営を担いつつ、外部でも地域づくりの為様々な活動を通して情報提供や相談等を行いました。理事長はこれまでの運営業務の引き継ぎ、内外の関係各所に会長と行動を共にするなど多忙な一年でした。

福祉マンション「ぐる一ふ藤一番館・藤が岡」は今年も地元藤が岡の地に根づく活動ができました。大勢いる地元のスタッフの様々なご縁からどんぐり園はじめ地元自治会・学童保育・中学校などとの交流が頻繁に行われました。

ぐる一ふ藤では、ホームヘルプを対人援助の基本と捉え、各部門のスタッフが在宅支援を経験することを方針として掲げています。今年度も多くのスタッフが部門を超えて活躍しました。

オープンして3年が過ぎた事業棟「ぐる一ふ藤二番館・アクア棟」は、順調にご利用者が定着し、サービス付き高齢者向け住宅「ぐる一ふ藤二番館・柄沢」は、ご入居者が増え続け、二番館の各部門が連携を取り合い一丸となって支えることができました。

居住支援法人「住まいる・藤」は2年目に入り、住宅確保要配慮者の住まい探しや入居後の生活支援活動の件数が増えました。同時期に始めた認知症の方とそのご家族の憩いの場、認知症カフェ「オレンジ・まるだい」は参加者が増え活気ある活動ができました。

運営については、年4回の理事会で予算をはじめ事業運営に関する重要事項の検討を行いました。役員及び各事業部門の代表で構成された部門代表会議を年15回開催し、理事会での決議を踏まえて各事業に関する諸事項の討議を行いました。全会員に対し月1回の運営報告会で運営状況の報告を行い情報の共有を図りました。また部門ごとに会議や担当者ミーティングを持ちそれぞれの課題を話し合うとともに、研修の場となるように努めました。部門の枠をこえた委員会活動やプロジェクトは、さまざまな形で会員が運営に参加する機会になりました。

2. 事業・活動部門

2-1 訪問介護事業（ぐるーぷ藤ホームヘルプ）

ご利用者に寄り添いその方らしく暮らしていただくために心のこもったホームヘルプサービスで在宅生活を支えました。

介護保険では必要とされる時に必要なケアの提供をめざしました。90歳代のご夫婦の認知症の奥様が真夏の暑い日に倒れ、ご主人がどうする事もできない状況でケアマネジャーと連携して緊急対応し体調の悪化を防ぐことができました。また要支援のご利用者に対してはできない部分の支援をすることで地域での自立した生活の支えになり、日々の変化の気づきをケアマネジャーに伝えることで安心した生活を提供することができました。様々なケースで多職種と連携して包括的なサービスの提供を行い、その方らしい生活を支えるホームヘルプとしての役割が果たせました。

障害者総合支援法では精神、知的、身体、児童と様々な障がいの方々のニーズに、悩みながらもできるだけその方の特性を理解して藤らしく対応する努力をしました。視覚障がいのご利用者のケアでは、すべての介護現場に通じる言葉かけの重要性を教えていただきました。児童の通学・通所支援では、多くが短時間の対応でしたが、ご家族からはとても喜ばれました。不安定な精神障がいのご利用者については、相談支援専門員に頻回に連絡することで安心して対応できる支援を模索しました。

本来事業では多くの子育て支援の依頼にできる限り対応し若いお母さん方に安心していただきました。介護認定をまだ受けていない高齢の方については、月1回の利用でも藤と繋がることで安心した生活が提供できました。

会議、研修にヘルパー全員が参加する等の体制要件から取得できる事業所加算Ⅱを今年度も継続することができました。訪問介護の介護力アップとヘルパーの資質向上の為、事例検討、ケース会議、研修等を行いきめ細かく対応しました。ヘルパー全員に共通の理解をしてもらうことの難しさを感じながらも、繰り返し確認することの成果も感じた年でした。

2-2 通所介護事業（アクアデイ菜の花）

運動特化型デイサービスとして個別機能訓練を重視したプログラムを作成しその方に合った最適なサービスを提供してきました。太極拳、和太鼓、セルフアロママッサージ、ご利用者主体のハンドメイドサークル等、曜日ごとの特色を活かしたプログラムを取り入れ、様々な身体状況の方に対応する機能訓練を充実させました。スタッフ考案の菜の花オリジナル体操でご利用者同士の連帯感を作ることに一役買いました。昨年度に引き続き地域の夏祭りでの和太鼓演奏は参加人数も増え、積み重ねた成果を発表することでご利用者の士気も上がりました。運動の成果が上がり介護度が向上した方、卒業された方と共に喜びました。

3か月に1回の計画書の見直しは、体力測定やご利用者との日常のモニタリングをもとに看護師・機能訓練指導員の協力を得て取り組みました。

今年度から水中運動の第一人者である国士舘大学体育学部須藤明治教授を顧問にお迎えし研修を行いました。水中運動の意味と根拠、高齢者特有の疾患である変形性膝関節症・脊柱管狭窄症などに対する具体的な効果を理解することができました。須藤先生の「プールには無限の可能性が 있습니다」の言葉に、スタッフ一同さらに専門性を高める意欲を持ちスキルアップをすることができました。事業所評価加算を取得した事業所として介護度の維持・向上をめざしました。

2-3 居宅介護支援（ぐるーぷ藤ケアマネジメント）

ご利用者の機能低下による心身状況の悪化や生活環境が急変したケースでは柔軟でスピーディなケアマネジメントを行いました。緊急時のプラン変更や実践にあたっては多職種との連携は不可欠でした。入院時、医療機関への情報提供や退院時のカンファレンス等主治医・MSW・訪問看護をはじめとして他のサービス事業所との連携を行い在宅生活の復帰を支援しました。退院後も医療依存度が高く不安を抱えたご家族には看護小規模多機能型居宅介護を提案しました。それによってご利用者の病状が安定し、ご家族の心身の負担が軽減されました。

サービス付き高齢者向け住宅に入居されているご利用者のケアマネジメントを行う中、入居時よりも体調の悪化や心身機能の低下により常に見守りが必要な状況になられた方には、同一法人内のサービス事業所やレストラン等と情報共有を行い、必要とされる支援を柔軟に提供することが出来ました。「ぐるーぷ藤二番館・柄沢」の入居に大きな安心と喜びを感じられたご利用者やご家族の声を多く聞きました。

ケアマネジャーの資質向上のために外部研修にも多く参加しました。多職種連携、成年後見人制度、高齢者を狙った犯罪等をテーマにした研修への参加や地域ケア会議では事例の提供を行いご利用者の在宅支援に必要な意見や提案を多方面から頂きました。内部研修では困難な事例を情報共有し、意見交換を行う事でケアマネジャー間の協力体制の強化を図る事ができました。

2-4 小規模多機能型居宅介護（ぐるーぷ藤 藤の花）

在宅生活を基本に「通い・泊り・訪問」を組み合わせたサービスでご利用者とご家族がいきいきと過ごせるように支援しました。ご利用者の個性を大切にし集団生活でも自分らしく過ごせる環境作りと一人ひとりの意向を尊重した対応を行いました。

年間延べ100名以上のボランティアによる三味線・日本舞踊・ズンバ等多彩なカルチャーを提供しました。週3回のお出かけでは季節の花々や美術館でアートにふれ、外食ではご利用者の希望を聞き選ぶ楽しみを広げていきました。

毎日のラジオ体操や太極拳、超音波流水プールを利用することにより機能維持・向上に努めました。

突然のご家族の不幸により在宅生活が困難になられた方の泊りを緊急で受け入れ、グループホームに入所されるまでを支えました。医療依存度が高くなり夜間の喀痰吸引が必要になられた方や末期の癌で緩和ケアの必要な方を看護小規模多機能型居宅介護の利用につなげました。

同一敷地内のサービス付き高齢者向け住宅のご利用者も増え、日常生活のサポート、些細な相談から急な体調不良まで様々なニーズに対応しました。夜間一人で過ごすことに不安がある方が急遽泊りを利用されたり、一時的に不穏になられた方を他部門と連携を取りながら一丸となって見守りました。

柄沢の地に開設して4年目を迎え地域に開かれた施設として防災訓練だけでなく近隣の方々が参加しやすいイベントを企画し交流しました。ハロウィンでは100人近くの子供達とご家族が訪れました。地元の児童館のイベントで昔遊びを教えてほしいと依頼され子供たちとの交流を楽しみました。こども110番に登録して身近に駆け込める場所となっています。

優良介護サービス事業所として職場環境の改善を意識し、内部外部研修を行い人材育成に努めました。

2-5 看護小規模多機能型居宅介護（ぐるーぷ藤 しがらきの湯）

「通い」「泊り」「訪問介護」「訪問看護」「ケアプラン」のサービスを一体化し、在宅の受け皿としてトータルケアを行ってきました。地域病院の連携室やリハビリ施設からの依頼で、主治医の指示書をもとに医療依存度の高い方でも退院直後から在宅生活へスムーズに移行できるよう支援しました。今年度も癌末期の方や進行性難病の方を受け入れ最期を迎える日までご利用者やご家族の思いを尊重し、医療や多職種と連携し包括的に対応しながら看取りケアを行いました。短期間での利用となりご利用者、ご家族、スタッフ間でどこまで信頼関係を築くことができるのか模索しながらのケアもありましたが、ご自宅で家族全員と見送る場に立ち会えた時は感慨深いものがありました。身寄りがなく独居の方では気持ちに寄り添い信頼を得るまで時間がかかり、毎日の通いや訪問で絶えず笑顔を見られるようになったケースもありました。また、高齢化や認知症が進んだ方のご家族へのレスパイトケアとして泊り・訪問のプランを増やし身体的、精神的サポートも行いました。

居心地の良い環境作りを大切にしながら生活リハビリを中心とした個別機能訓練を継続することで日常生活動作の向上をめざしました。自宅での転倒や事故後の機能回復のための運動、歩行訓練なども看護師、介護福祉士が協力し行っていました。嚥下機能については、管理栄養士と相談をしながらご利用者にあった食事形態をとり誤嚥に注意を払い食への意欲が低下しないよう努めました。

地域社会との繋がりを持ち続けるため自治会行事への参加を心がけましたが、車椅子特にリクライニング車椅子も増え多くの参加が難しくなっています。どろんどろん園の子供たちとの触れ合いで普段見られない笑顔を見ることが出来ました。四季折々の外出や外食では、全員で長久保公園にピクニックに出かけたり近所の神社に初詣、季節の花を眺めたりと笑い・喜び・希望を引き出す機会を作りました。

スタッフ個々がめざす介護・医療研修に参加しスキルアップを図るとともにリーダー育成につなげました。

2-6 障がい者グループホーム（藤が岡の家・本藤沢の家）

20代から60代の障がいのある方たちが、緩やかな家族のように助け合っ
て暮らすグループホームでは、安心して社会性のある毎日が過ごせるよう支
援をしました。仕事・健康・家事・家族関係等困った時に、なじみのスタッフや他
部門のスタッフ、関係各機関の方たちと連携しながら支援を行う事で、その方ら
しい生活が続けられるよう手助けしてきました。

コミュニケーション力の訓練の為にしているホームルームでは、司会役が
自分からテーマを準備する等問題意識や解決方法を皆で話し合える雰囲気が出
てきました。またお互いの普段は見られない生活や意外な一面を知る良い機
会となっています。

入居者の高齢化が進み、精神症状の重篤化や身体疾患の増加で医療との連携
が頻回になってきました。通院同行や医師・看護師との連絡調整が必要なケース
が増加してきました。

◆ 藤が岡の家

複合施設の中にあるグループホームという特色を生かし、他部門のスタッフ
の協力を得て、安心できる住まいを提供してきました。自治会のお祭りへの参加、
毎月のボランティアとの食事会等様々な人との関わりを持てるよう支援してき
ました。特にこの数年入居者の高齢化が著しく日中支援事業所や医療関係とも
密に連絡しながら日常生活が継続できるよう工夫しています。

◆ 本藤沢の家

開設から7年を経てアパート形式で自立性の高い本藤沢の家での暮らしの中
では、毎日の夕食時間が重要なコミュニケーションの場となっています。夕食の
多様なメニューで単調な生活に変化が付き、一人暮らしの健康管理の役割も果
たしています。毎週土曜日の料理サークルでは入居者からのリクエストメニュ
ーや行事食を取り入れ、一人ひとりの生活力を高めることに繋がるとともに、3
00円で美味しい夕食提供ができました。月1回の手芸サークル「けいと玉」で
は3名の入居者が、ボランティアとの語らいを楽しみに作品づくりに参加して
います。出来上がったいろいろな作品は毎年お祭りや「ヨロシク♪まるだい」で、

地域の方に販売しています。また今年も「ぐるーぷ藤一番館」の入居者に10枚の華やかな手編み座布団のプレゼントをすることが出来ました。

2-7 障がい者相談支援事業（計画サポートぐるーぷ藤）

障がいがあっても地域で自分らしく暮らし続けていくために、5人の相談支援専門員が様々な制度やサービス、社会資源や人を調整しその方に寄り添い活動してきました。同一法人内に障がい者居宅介護事業と精神障がい者を中心としたグループホームを持っていることから、精神科病院からの困難なケース依頼も多く制度の中では解決しきれないような事例もありました。

夫と2歳の子どもと暮らしている精神障がいの母親のケースでは、結婚前からリストカットや拒食を繰り返してきた経緯があり、知らない土地での子育てのストレスから、命の危険を感じるような事態もおこりました。頼れる親が遠方なので、相談支援専門員は、夫や医師、訪問看護、ヘルパーサービスと一丸となって支えていかななくてはなりませんでした。市の子ども家庭課につなぎ保育園の協力も得て、完璧主義で自分を責めてしまう母親を孤立しないよう見守ってきました。また日中はアパートからどこにも行かず入退院を繰り返していた精神がいの男性のケースでは、その方に合ったグループホームを市外まで行って探しました。これまでは行く事の出来なかった作業所に通い、ご本人の健康的な部分を生活の中に引き出すことができました。

様々な障がい特性に合った多様なニーズに応えられるよう、相談援助のスキルと知識を身に付けるとともに、近年問題となっている8050問題にも取り組んできました。

2-8 高齢者住宅（ぐるーぷ藤一番館）

お住まいの方にその方らしく心豊かに暮らしていただくために、ご本人、ご家族と相談しながら介護保険による看護小規模多機能型居宅介護、小規模多機能型居宅介護、ホームヘルプ、外部事業所のデイサービスなどを利用し生活の質を維持できるように支援しました。利用にあたっては、機能の衰えなどを考慮しサービスの変更などもご家族、事業所間で充分話し合いを持ちました。また、訪問診療を始めとする多職種との連携を密にとり安心した生活を送れるように努めました。ご入居者もご家族も高齢になり、ご入居の安心とは別に不安も多く持たれています。看取りに対しても一番館なのか病院なのか、気持ちの揺れを感じ取りいつでも相談できる体制をとり、その方らしく穏やかに最期の日を迎えることが出来ました。

一番館に長く住まれている方、新しく入られた方が同じ空間を心地よく過ごす事ができるようにコミュニケーションを多く持ち、一緒に参加できる行事を模索していきました。流しそうめん、敬老の日、クリスマス会、お鍋など厨房や

オハナの協力で季節感を取り入れた食事会を行ないました。また、毎月ボランティアの先生やスタッフがご入居者と一緒におやつレクなど曜日をかえて楽しみました。フロアでのおしゃべりや笑顔からやはり食の大切さが伝わってきました。自治会行事に参加したり散歩で花見をしたりと天候や体調に合わせ外出するよう心掛けました。

ご入居者と共に計画的に防災訓練、避難訓練を行いスタッフの防災意識を高めるよう努めました。また、ご入居者の介護度が高くなり「おもてなしの心」とは何かを考えると共にケアの技術向上を図りました。

2-9 サービス付き高齢者向け住宅（ぐるーぷ藤二番館・柄沢）

開設から3年が経過し、目標を上回る方々にお住まい頂いています。年齢も60代から100歳を超える方まで幅広く、そのためコンシェルジュの対応も毎日の安否確認や生活相談サービスを始め、催し物の案内・引越し支援・館内外の清潔保持等多岐に渡っています。また管理人による夜間の訪問や救急車の緊急対応も行い、ご入居者の安心・安全・快適な住空間の確保に努める多様な援助を行いました。

同一敷地内にある小規模多機能型居宅介護、デイサービス、居宅介護支援、レストラン等のサービスと連携することで情報を一元化し、ご入居者の体調に合わせて食事の形態を工夫するなどスムーズに支援内容を調整でき、サービス付き高齢者向け住宅の役割を果たすことが出来ました。

ご入居者のニーズに対応し、有料ホームやグループホームへの橋渡しをしたり、癌末期の看取りも行いました。入院先から直接ご入居された方には、直ぐにホームヘルプ・小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護のサービスを組み合わせるなど、法人一丸となって取り組み、切れ目のない援助でご入居者ご家族を最期まで支えることを心がけました。

今年度の防災訓練は、法人スタッフや近隣住民、地域包括支援センターの職員と共に煙体験を行いました。初体験の方も多く緊急時における有意義な訓練となりました。

またデイサービスフロアやレストランを利用した、そば打ち・苔玉作り・お花見会・カラオケ大会等イベントを行い、多くの参加者に楽しんで頂きました。毎朝の挨拶から始まるラジオ体操も定着しました。長年地域で対人援助を行ってきた法人としての力を十分発揮して支援を行うことが出来ました。

2-10 厨房及びレストラン オハナ

厨房では管理栄養士がカロリーや塩分に気を配った体に優しい献立を作成しました。食事介助も行うことでアセスメントに生かしご利用者に寄り添った献立を作ることが出来ました。

また徹底した衛生管理・商品管理を行い、安全性を確認してから一番館にお住まいの方・医療依存度の高い看護小規模多機能型居宅介護をご利用されている方の食事を提供しました。季節感あふれる行事食や「湘南しらす丼」「横浜シウマイ御膳」「宇都宮ぎょうざ」「秋田名物きりたんぽ鍋」等ご当地グルメを味わえる献立も大変好評でした。

併設のレストラン「オハナ」は季節感を大切に、一皿、一鉢手間と意思をかけた日替わりランチを提供しました。子育て世代の方々から地域の高齢者まで五感と心が満足できるとの声がありました。またご利用者のイベントの場として誕生日会やクリスマスパーティも行い皆様に楽しんで頂きました。

また本藤沢の家の夕食提供を継続し、世代に幅のあるご利用者に満足して頂けるようメニューに変化を付け対応しました。

2-1-1 レストラン マハロ

サービス付き高齢者向け住宅にお住まいの方の昼食から夕食まで幅広い献立で温かい食事を提供しました。ティータイムは手作りケーキを楽しみにたくさんの方が来て下さいました。毎月のカラオケ大会へのお誘いやお茶のサービス、そば打ちのイベントも開催しお住いの方々のコミュニティの場として定着しています。

またデイサービスには手作りおやつを提供も行い、小規模多機能型居宅介護には特別食をはじめ今年度はソフト食にも取り組みました。行事食や敬老の日・家族会・誕生日会のデザートも提供しとても好評でした。

コンシェルジュや二番館で働くたくさんのスタッフと連携をとりながらお住まいの方の日常を支える役割も果たしました。

2-1-2 総合相談窓口

総合相談窓口では看護師・保健師・介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士・ケアマネジャー等が常駐し、地域の駆け込み寺として福祉・医療に関するだけでなく、住まいの相談にも応じました。

近隣の方が路上で倒れているという民生委員からのSOSで車椅子を持参し、ご自宅まで送ったり、近くで転倒された方の救護に看護小規模多機能型居宅介護のスタッフとともに駆けつけました。地域に頼られる存在となっており、ぐるーぶ藤の活動が周知されていることを感じました。

長年の経験を生かし一人ひとりの状況を理解し、弁護士・民生委員・地域包括支援センター等に橋渡しをするNPO版地域包括支援センターの役割が、また一回り大きくなりました。

2-13 地域ささえあいセンター（ヨロシク♪まるだい）

地域の中で孤立したり生活に不自由を感じたりする方に手助けをする場として、10月に6年目を迎えました。

さらに地域の縁側として本来の食事提供ができるよう「まるだい食堂」から「みまもり食堂」と名を改め、生活支援コーディネーターによる見守りを充実させました。また消費税増税に伴い、これまで食材費の高騰にも耐えてきましたが、法人として議論を尽くした結果、30円の消費税をいただくことになりました。その後も「安くて美味しい」と変わらない評価をいただいて、居場所としての定着を実感しました。

ミニデイは昨年に続き毎週行っている太極拳、麻雀をはじめとして16種類ものメニューがあり、多くの方が楽しまれています。クリスマス会ではその中でも笑いヨガ、民謡を歌う会、講談、フラダンスの発表の場を設け、50名近い方々の参加があり、その後ミニデイの参加者も増えました。地域の写真サークルにギャラリーを提供し利用者だけでなくスタッフも季節感を楽しんでいます。

昨年に引き続きシリーズで行っている「終活セミナー」では毎回異なったテーマで話し合い、参加者が家族と話すきっかけ作りにもなりました。認知症カフェ「オレンジまるだい」では毎月参加される方に加え認知症予防に興味を持つ方が増え、参加者が広がってきました。知らないと損をすると銘打った「おしゃべり会」を5回開催し、大いに盛り上がりました。

今年度も利用者アンケートを実施し、その結果男性利用者、70代の利用者、健康作りに興味を持っている方が増えていることがわかりました。

息子からの虐待を受けた母親を娘が引き取ることになったため、生活支援コーディネーターが介護相談を受けて、地域の介護保険事業者に繋ぎ、困ったときの相談窓口の役割も果たしました。

2年前に発足した協議体では、自治会・民生委員・老人会・公民館・地域包括支援センター・行政等と情報交換、意見交換を行い、地域作りを担う他団体との連携に努めました。より一層地域との交流を図るため公園体操、公園掃除にも参加しました。またさまざまな事情を抱えながら働く意欲ある方の就労の場を提供してきました。

2-14 子どもの生活支援事業（こども♪まるだい）

4年目を迎え、地域の温かい環境で子ども達に「安心して過ごせる居場所」を提供しました。子どもたちは日々成長し、以前から通っている子が新しく仲間入りした子にきちんと座るよう伝えたり、お箸の持ち方を教えたりしています。

今年は農福連携によるたくさんの野菜の寄付に加え、一般社団法人国連PRIDE日本より挽肉10kgの寄付をいただき、子ども達とハンバーグやギョーザ等を作り美味しく頂きました。5年生の女の子が初めて餃子作りの経験をしたり、

節分では海苔巻きに挑戦したりと、子ども達にとって家庭的な体験をする場となっています。また釣りの好きな地域の方からニジマスをいただき、塩焼きやムニエル等特別な食体験の場にもなりました。子ども達自ら食べたいものを声に出せるようになってきたことは、嬉しい変化でした。旬の食材を料理に取り入れ、季節の移り変わりを感じてもらおうよう心がけました。いつも野菜を取りに伺うわいわい市に子ども達がスタッフと共に行き、農家の皆さんに直接お礼を言うことが出来ました。

ボランティアの学生達とかくれんぼやカードゲーム等を楽しむだけでなく、「大きいお風呂に入りたい」と言う子どもたちと近くの銭湯に行き、頭を洗ってあげると「気持ちいい」と喜んでいました。子ども達が落ち着いて色々な事に取り組み「安心して過ごせる居場所」の役割を果たしてきました。

3. 管理部門

ぐる一歩藤総体の事務局として管理運営に責任をもち、効率的に業務を遂行できるよう努めました。定款・就業規則・労働基準法をはじめとする法令の遵守を徹底するとともに、請求業務、官公庁への各種届出、他団体や業者との折衝を確実に遂行しました。予算の執行にあたっては、人員配置・水道光熱費等すべてにおいて無駄を省き経費節減に努めました。

一番館が13年目に入り修理が昨年より多くなり、迅速に手配することを心掛け利用者の生活、スタッフの業務に支障がないよう努めました。

障がい者雇用では、一緒に働く仲間に溶け込んで就労ができるよう支援しました。

さらに、基本的に経験・技能ある介護職員の処遇改善を目的として10月から始まった特定処遇改善加算Ⅰの取得により、介護福祉士の経験年数、介護現場で活動していること等を要件にスタッフへの分配を実施しました。会計ソフトの変更や消費税率改正に伴い、経理上の修正など事務作業に時間を割き経理業務の効率化を図ることができました。

3-1 会員（メンバー）と福利厚生

メンバーの紹介により福祉のまちづくりの理念に賛同する仲間が12名増えました。3月末で会員は151名となりました。各々の資格や能力を生かして皆がやりがいをもって働ける多様な職場づくりをめざし、自己実現の場をつくりました。福利厚生の充実にも努め、働き方改革における「年5日の有給休暇取得」は対象者の100%が取得しました。また、年4回の演劇鑑賞会や催し物を提供しました。

恒例の交流会では、6月にはアクア棟の駐車場を使用しBBQフェスタを開催しました。「こども♪まるだい」からも子どもたちが参加し、雨天の中でしたが

美味しい肉と新鮮な野菜を食べ、魚つりゲームなどで子どもから大人まで楽しみました。11月は富岡製糸場、ラスク工場見学等の群馬日帰りバスツアーを催行しました。アクシデントがあり予定通りにはいきませんでした。アクシデントも土産話の一つになり、参加しなかった方々も話を聞いて楽しむことができました。新年会では、交流委員特製のボリュームたっぷりの手作りの食事、恒例のゲームで大いに盛り上がり親睦を深めました。

福祉関連有資格者（2020年3月現在・重複あり）

ホームヘルパー	1級：	3名
	2級：	89名
Aヘルパー修了者		8名
初任者研修修了者		13名
実務者研修修了者		11名
同行援護従事者		6名
行動援護従事者		4名
同行援護サービス提供責任者		2名
ガイドヘルパー		25名
認定特定行為業務従事者		10名
(喀痰吸引研修修了者)		
介護福祉士		72名
保健師		1名
看護師		9名
柔道整復師		1名
介護支援専門員		14名
障がい相談支援専門員		8名
精神保健福祉士		3名
社会福祉士		4名
社会福祉主事		3名
福祉住環境コーディネーター		5名
認知症ケア専門士		1名
学習療法士1級		1名
管理栄養士		2名
栄養士		7名
調理師		8名
食品衛生責任者		11名
キャラバンメイト		6名
普通救命講習I修了者		173名

シニア・インストラクター	2名
アセッサー講習修了者	1名

3-2 広報活動

ぐるーぷ藤のホームページを全面リニューアルしました。今回の改定では、パソコンの他にスマートフォンやタブレットからアクセスした際にも、より見やすく、情報が分かりやすいデザインや構成にしました。ぐるーぷ藤が大切にしているこれまでの歩みや理念、ミッションについて分かりやすく表示し、菜の花のプールを中心としたリハビリや「ヨロシク♪まるだい」の生き生きした様子をご覧いただける動画や写真を多数掲載しました。

広報誌「花どけい」では、超高齢化社会の到来に伴い、高齢者、障がい者が利用できる制度や仕組み、認知症など病気の情報提供に重点をおきました。

活動2年目の居住支援法人「住まいる藤」の活動内容について広く周知をするために、住まいるTシャツやクリアファイルの作成をしました。また、高齢者住宅一番館パンフレット、認定NPO法人のパンフレットを刷新しました。

3-3 諸団体での役割

- ・認定NPO法人市民福祉団体全国協議会 代表理事
- ・一般社団法人市民福祉支援協議会 代表理事
- ・民間介護事業推進委員会 委員
- ・藤沢市個人情報保護制度運営審議会 委員
- ・藤沢市住まいと暮らし連絡会 役員
- ・藤沢市精神障がい者地域生活支援連絡会 委員
- ・ふじさわ福祉NPO法人連絡会 代表
- ・藤沢市相談支援連絡会 委員

4. 研修プロジェクト

ご利用者のニーズを的確に把握し柔軟に個別ケアを行うために、メンバー一人ひとりが目標をたて介護の質を高めてきました。その土台となる学びの三本柱『理念と意思の共有』『スキルアップ』『新しい介護』を継承するため今年度も研修プロジェクトを設置しました。

理念の共有と継承を目的とした「理事長と語る会」では藤の理念を再確認し介護の仕事をするものとしての自己実現と自己責任について一人ひとりが考えました。管理職研修では3年後を見据えてそれぞれのビジョンを語り合いました。メンバーの交流・情報交換の場にもなり有意義な研修となりました。

スキルアップ研修は全5回開催し124名のメンバーが参加しました。今年度も外部講師を招き多くの情報を得る事が出来ました。臨床心理士の稲富正治

氏の「職員のストレスマネジメント」ではストレス社会の現状と様々な症例をお話しいただきました。現代礼法研究所代表の岩下宜子氏の「電話対応マナー研修会」では今後の仕事に役立つ接遇の心、対人力を学びました。

三重大学教授竹内佐智恵先生の第27回介護講座ではボディメカニクスを復習するとともにスタッフを対象にした「40代以降の女性の身体って？」と題して更年期の症状・対処方法をお話しいただきました。身近な内容に多くの関心が集まりました。

厚生労働省の「介護プロフェッショナル・キャリア段位制度」のレベル認定に基づき、地域ケア総合研究所の須江研究員による「根拠ある介護」研修を全6回で開催し、各部門のトップリーダーが参加して統一した介護の実施をめざしました。

その他にせっけん講習会、救命救急講習会、すみれ主催研修プロジェクト後援の湘南いなほクリニック院長内門大丈先生による「認知症の方への接し方」を企画し実施しました。

今年度も内部、外部を合わせて196回の研修を行いました。

5. 安全衛生委員会

安全に安心して働ける職場環境の維持に努め、産業医のアドバイスも受けながら会員の健康保持に努めました。衛生管理者による食中毒・感染症（胃腸炎、ノロウイルス、インフルエンザ）の予防研修を実施し、対策の連絡等を徹底しました。また腰痛予防体操の講師による実技研修やハラスメント研修も行いました。ご家族にもノロウイルス、インフルエンザが蔓延する前に、予防法や罹患した場合について手紙により注意を促しました。結核の冊子も、しがらきの湯、藤の花、菜の花の3部門のご利用者やご家族へ配布しました。

新型コロナウイルス感染症に関しては、厚生労働省や県、市からの度重なる通知に基づき適宜対応を検討し各部門内とも情報を吟味しながら、ご利用者、ご家族、業者、関係事業所、会員等に対応しました。不足する必需品の調達に努力する一方、関係部署に理解、協力を要請しました。

メンタルヘルス対策や健康管理研修への参加や心の健康づくり計画作成に着手することができました。昨年に引き続き、セルフケアの充実化および働きやすい職場環境の形成を目的に「ストレスチェック」を実施しました。

6. 防災委員会

法人として行うべき防災訓練を、法人全体訓練2回、各部門は避難訓練1回・発電機作動訓練1回と決め、実施しました。

9月に法人全体防災訓練の1回目として二番館・柄沢にてサービス付き高齢者向け住宅のご入居者、アクア棟の施設利用者の火災避難訓練と、近隣の方々に

お声掛けし、消火訓練・煙体験訓練・炊き出し訓練を行いました。一人ずつ消火器を使ったり、煙の中を避難する体験は貴重でした。防災食を使った炊き出しは試食して下さった消防署職員の方からも美味しいとの声を頂きました。

2月には通報訓練を行い、通報の内容や手順などを学びました。落ち着いて対応することが重要であると認識しました。また、藤沢市のJアラート訓練に合わせ、前年度に行った訓練を生かした安否確認訓練も行いました。入居者の外出先での安否確認が課題となりました。

大型台風の際には、浸水想定区域にお住いの方や自宅で過ごすことが不安な方から事前避難の要望があり、受け入れ態勢を整えました。実際に避難して来た方は一晩安心して過ごされ、防災拠点としての役割を果たしました。

様々な災害が起こり、今までの予想を超える災害対策が必要になったことを痛感し、さらに充実した災害対策本部、マニュアルの策定を目的に災害対策本部設置の会議を設け、検討を重ねました。

7. 居住支援チーム 住まいる[▲]藤

昨年度に引き続き改正住宅セーフティネット法に基づき、住宅確保要配慮者の民間住宅への入居に関わる情報提供、相談、見守りなどの入居支援・生活支援を行う居住支援法人として神奈川県指定を取り、国土交通省の「重層的住宅セーフティネット構築支援事業」を受託し活動しました。

ケアマネジャー、障がい相談支援専門員、精神保健福祉士、社会福祉士、介護福祉士、藤沢市生活支援コーディネーター等の資格を持つ10名のスタッフが、話し合いをしながら居住支援法人として2年目の活動を進めました。広報誌「花どけい」をはじめ、セミナー案内チラシをもって市内の不動産業者をまわり、活動への協力要請を行って藤沢市内の仲間づくりを行いました。しかし大家さんの理解を広げることは時間がかかり、課題を残しました。

今年度は「ヨロシク♪まるだい」に毎週相談窓口を置き、「おしゃべり会」で住まいの相談会を行い、さらに活動の場を広げました。その結果約100件の電話や来訪による相談があり、56件の同行・マッチング支援を行い、サービス付き高齢者住宅は6件、民間賃貸住宅は7件の入居に繋がりました。

住み続けるための支援を継続的に行っていくことが、大家さんとの信頼関係、街づくりネットワークの構築につながると考え、「100人の住まいる隊」を結成、マニュアルや契約書を整備し、そろいの住まいるTシャツを着てぐるーぷ藤ならではの継続支援、住まいる隊活動を開始しました。

全国の居住支援についての市民協の学習会、大阪の生協が行っている多角的な居住支援システムを見学、研修したことで今後の居住支援の在り方に示唆を得られました。また内部では市内全域に向けた2回のセミナーを開催し、居住支援についての相互理解を深め多くの参加者とつながりができました。特に国

土交通省関東整備局の横田課長を招いての第2回セミナーでは、その後の懇親会で多職種の方との連携が得られ、藤沢市の居住支援協議会設立に向け大きな一歩を生み出すことができました。

そこで次年度も国土交通省の補助金が継続することが発表されたことで今後の活動に弾みがつきました。

8. 外部活動

幼児教室どんぐり園、コンフォール藤沢自治会、柄沢町内会、ボランティアすみれ及び他団体と連携しながら地域に根ざした活動を行いました。地域で地道な活動をするNPOや障がい者団体等に「まちづくり対策費」を活用しそれぞれの活動を支援してきました。

ふじさわ福祉NPO法人連絡会は代表として隔月開催しました。昨年度に引き続きサービスAヘルパー養成研修を担当しました。

市民協を代表し民間介護事業推進委員会の委員を務め、全国NPO法人の相談窓口として福祉相談を受け付けました。さらに一般社団法人市民福祉支援協議会の代表としてシニアを対象とした安心の生活サポート「あんサポ」「くらサポ」のしくみを広く理解してもらえるよう活動しました。また、市民協の代表理事として、佐賀県で地域づくりや介護保険のこれからに関する研修の講師を務めました。様々な機会を通して、ぐるーぷ藤の活動を広く紹介するとともに啓発活動を行ってきました。

※市民協：認定NPO法人市民福祉団体全国協議会

◇講師

- ・ 05/14 「認定NPO法人ぐるーぷ藤の街づくり」(江戸川総合人生大学)
- ・ 05/16 終活セミナー(ヨロシク♪まるだい)
- ・ 06/23 認知症サポーター養成講座(ヨロシク♪まるだい)
- ・ 07/18 「居住支援の取組み」(藤沢市障害地域支援連絡会)
- ・ 07/31 「住まいの支援について」(藤沢市保健福祉連絡協議会)
- ・ 08/20 認知症サポーター養成講座(ハローワーク藤沢)
- ・ 10/19 起業塾について(日本サードセクター経営者協会)
- ・ 11/19 在宅看護論(湘南平塚看護学校)
- ・ 11/26-12/10 介護スタッフ研修(藤沢市)
- ・ 11/29, 12/03 「居住支援の取組み」(神奈川県居住支援協議会)
- ・ 01/20-30 介護スタッフ研修(藤沢市)
- ・ 02/19 「“地域づくり、街づくり”と“介護保険のこれから”」(佐賀県)

◇取材、見学等

・取材 : 菅原氏 (こども♪まるだい)

・見学 : 一番館 : 4件 9人
: 二番館 : 3件 7人
: ヨロシク・まるだい : 4件 11人
: 子ども・まるだい : 4件 9人

第2号議案

2019年度決算報告書及び監査報告

2019年度 活動計算書（特定非営利活動に係わる事業）

2019年4月1日から2020年3月31日まで

NPO法人ぐるーぷ藤

(単位：円)

科 目	金	額
I 経常収益		
1 受取会費		
藤会員年会費等収入	15,000	
さわ会員年会費等収入	66,000	
賛助会員年会費等収入	20,000	101,000
2 受取寄付金		
寄付金収入		1,189,500
3 受取助成金等		
助成金・補助金収入	9,199,174	
委託金収入	8,446,164	17,645,338
4 事業収益		
事業収入		437,393,962
5 その他収益		
受取利息	363	
雑収入	3,632,535	3,632,898
経常収益 計		459,962,698
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給料手当等	194,037,749	
有償ボランティア	2,662,084	
通勤交通費	3,258,682	
福利厚生費	698,256	
人件費 計	200,656,771	
(2) その他経費		
食材費	18,831,154	
印刷製本書籍費	1,477,442	
会議・研修費	720,880	
旅費交通費	1,463,270	
通信費	2,258,422	
消耗品費	6,213,091	
修繕費	2,178,394	
水道光熱費	13,259,301	
家賃支出	8,508,000	
リース料	7,262,788	
減価償却費	887,518	
生活支援CD事業費	2,284,763	
保険料	1,113,816	
街づくり対策費	353,514	
管理諸費	3,291,499	
雑費	742,713	
その他経費 計	70,846,565	
(3) 事業・間接費		
給料手当等	40,058,763	
賞与手当	13,064,000	
法定福利費	29,080,538	
家賃・地代家賃	4,800,000	
支払利息	22,756,077	
租税公課	8,560,500	
減価償却費	41,029,380	
事業・間接費 計	159,349,258	
事業費 計		430,852,594

2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当等	3,666,000		
有償ボランティア	419,489		
通勤交通費	288,500		
福利厚生費	3,153,391		
人件費 計	7,527,380		
(2) その他経費			
印刷製本書籍費	234,323		
会議費	307,432		
旅費交通費	467,813		
販売物品費	1,550,644		
通信費	336,623		
消耗品費	187,609		
修繕費	815,160		
水道光熱費	203,415		
家賃支出	420,000		
リース料	6,952,317		
研修費	666,783		
交際費	174,625		
保険料	1,558,936		
管理諸費	3,569,982		
雑費	664,930		
その他経費 計	18,110,592		
管理費 計		25,637,972	
経常費用 計			456,490,566
当期経常増減額			3,472,132
III 経常外収益			
経常外収益 計			0
IV 経常外費用			
経常外費用 計			0
税引前当期正味財産増減額			3,472,132
法人税、住民税及び事業税			70,000
当期正味財産増減額			3,402,132
前期繰越正味財産額			115,948,205
次期繰越正味財産額			119,350,337

2019年度 貸借対照表

2020年3月31日現在

NPO法人ぐるーぶ藤

(単位：円)

科 目	金 額	金 額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	1,196,547	
小口現金	3,942,000	
普通預金	45,716,615	
未収金	50,628,067	
貯蔵品	698,480	
前払金	4,474,975	
立替金	876,502	
流動資産合計		107,533,186
2 固定資産		
(1) 有形固定資産		
建物	953,397,158	
建物附属設備	10,020,656	
構築物	30,062,432	
車両運搬具	552,635	
什器備品	3,569,264	
土地	166,519,448	
有形固定資産計	1,164,121,593	
(2) 無形固定資産		
水道施設利用権	4,588,058	
電話加入権	180,600	
ソフトウェア	380,700	
無形固定資産計	5,149,358	
(3) 投資その他の資産		
敷金	1,669,000	
保証金	80,000	
投資その他の資産計	1,749,000	
固定資産合計		1,171,019,951
3 繰延資産		
繰延資産	108,000	
二番館開設準備金	5,235,700	
繰延資産合計		5,343,700
資産合計		1,283,896,837
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	23,585,827	
前受金	14,622,485	
預り金	3,113,793	
預り保証金等	25,757,000	
仮受金	15,245	
流動負債合計		67,094,350
2 固定負債		
長期借入金	906,452,150	
擬似私募債	191,000,000	
固定負債合計		1,097,452,150
負債合計		1,164,546,500
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		115,948,205
当期正味財産増減額		3,402,132
正味財産合計		119,350,337
負債及び正味財産合計		1,283,896,837

(注)

- ・ 財務諸表の作成は NPO会計基準(2010.7.20 2011.11.20一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。
- ・ 消費税等は税込経理により処理しています。

2019年度 財産目録

2020年3月31日 現在

NPO法人 ぐるーぷ藤

(単位：円)

科 目		金 額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	現金手許有高	1,196,547	
小口現金		3,942,000	
普通預金	7口座	45,716,615	
未収金	国保連未収金	39,098,803	
	利用者未収金	9,848,214	
	その他未収金	1,681,050	
貯蔵品	販売物品	352,274	
	食材	122,517	
	会員用消耗品	223,689	
前払金	前払保険料	1,024,587	
	前払いその他	3,450,388	
立替金		876,502	
流動資産合計			107,533,186
2 固定資産			
(1) 有形固定資産			
土地	一番館 藤が岡	166,519,448	
建物	一番館 藤が岡	230,735,892	
	二番館 柄沢	722,661,266	
建物附属設備	一番館 藤が岡	9,492,491	
	二番館 柄沢	528,165	
構築物	一番館 藤が岡	230,817	
	二番館 柄沢	29,831,615	
車両運搬具	自動車5台	552,635	
什器備品	一番館 藤が岡	985,938	
	二番館 柄沢	2,583,326	
有形固定資産計			1,164,121,593
(2) 無形固定資産			
水道施設利用権	二番館 柄沢	4,588,058	
電話加入権		180,600	
ソフトウェア		380,700	
無形固定資産計			5,149,358
(3) 投資その他の資産			
敷金	藤が岡 駐車場3台ほか	1,669,000	
保証金	セコムAED等	80,000	
投資その他の資産計			1,749,000
固定資産合計			1,171,019,951
3 繰延資産			
繰延資産	まるだい開業準備費等	108,000	
二番館開設準備金		5,235,700	
繰延資産合計			5,343,700
資産合計			1,283,896,837
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	従業員給料	18,236,832	
	諸経費等	5,348,995	
前受金	高齢者住宅入居金等	14,622,485	
預り金	社会保険料等	3,113,793	
預かり保証金	高齢者住宅敷金等	11,100,000	
	グループホーム敷金	2,181,000	
仮受金	サービス高齢者住宅敷金	12,476,000	
	社会保険料等	15,245	
流動負債合計			67,094,350
2 固定負債			
長期借入金	横浜銀行 二番館・柄沢	682,300,000	
	横浜銀行等	224,152,150	
擬似私募債	一番館・藤が岡	94,500,000	
	二番館・柄沢	96,500,000	
固定負債合計			1,097,452,150
負債合計			1,164,546,500
正味財産			119,350,337

監 査 報 告 書

NPO法人ぐる一ふ藤
理事長 佐藤 律子 殿

下記の通り監査をいたしましたので、ご報告いたします。

記

- ・ 監査実施日 2020年5月15日
- ・ 立 会 人 理事長 佐藤 律子、会長 鷺尾 公子、事務局長 笹原 美恵子
経理主任 佐藤 由実
- ・ 監査対象期間 2019年4月1日～2020年3月31日
- ・ 監 査 方 法 実査及び立会人からの聞き取り

1. 会計監査

- ・ 諸伝票、預金通帳、現金、証憑書類並びに活動計算書、貸借対照表及び財産目録などについて実査した結果、いずれも適正に処理されていることを認めます。

2. 業務監査

理事長佐藤律子氏及び会長鷺尾公子氏から2019年度事業に関する概要説明を受け、当該事業計画に沿って監査を実施しました。

- ・ 今年度終了間近になり新型コロナウイルスのパンデミックが世界を襲いました。感染すると重症化するリスクの高い高齢者に日々接する「ぐる一ふ藤」は、緊張の毎日が続いており、スタッフの献身と努力に敬意を表します。
- ・ 開設から3年経過したサービス付き高齢者向け住宅「ぐる一ふ藤二番館・柄沢」は併設するアクア棟および一番館のサービスとの連携によるきめ細かな対応により、予測を超える入居率を達成し「藤」の運営を支えていることを高く評価します。
- ・ 住まいる藤が、管轄する国交省から活動実績を評価され補助金の増額を認められたのは、ヨロシクトまるだい、こどもまるだいと共に地域に密着する事業の証です。
- ・ 新型コロナウイルス感染防止のため一部事業の休止や縮小の対策を講じたにもかかわらず、最終的に黒字決算という結果はスタッフ一同の努力の賜物と評価します。

2020年5月15日

監事 小野 淑子



監事 藤澤 抱一



第 3 号議案

定款變更

NPO法人 ぐるーぷ藤 定款変更（案）

新	旧
<p style="text-align: center;">NPO法人ぐるーぷ藤定款</p> <p>略 (事業)</p> <p>第5条 本法人は第3条の目的を達成するため、特定非営利活動に係る次の事業を行う。</p> <p>(1) 家事、介護、育児等に関する生活支援サービス、相談および支援事業</p> <p>(2) 地域福祉の向上に向けた学習および研修、啓発をはかる事業</p> <p>(3) 介護保険法にもとづく、居宅サービス事業・地域密着型サービス事業・居宅介護支援事業・介護予防サービス事業・地域密着型介護予防サービス事業・介護予防支援事業</p> <p><u>(4) 障害者総合支援法にもとづく障がい福祉サービス事業</u></p> <p><u>(5) 高齢者、障がい者等に対する居宅サービスおよび施設サービス事業</u></p> <p><u>(6) 乳幼児(病児を含む)とその母親・児童・生徒の放課後の預かり、および緊急時の乳幼児(病児を含む)とその母親の泊りに関する事業</u></p> <p><u>(7) 安心して住める地域社会の実現に貢献する事業</u></p> <p><u>(8) レストランおよび配食サービス事業</u></p> <p><u>(9) まちづくり活動を行う団体等の支援事業</u></p> <p><u>(10) その他この法人の目的を達成するために必要な事業</u></p> <p>以下略</p> <p><u>附則 この定款は、令和2年(2020年)6月7日から施行する。</u></p>	<p style="text-align: center;">NPO法人ぐるーぷ藤定款</p> <p>略 (事業)</p> <p>第5条 本法人は第3条の目的を達成するため、特定非営利活動に係る次の事業を行う。</p> <p>(1) 家事、介護、育児等に関する生活支援サービス、相談および支援事業</p> <p>(2) 地域福祉の向上に向けた学習および研修、啓発をはかる事業</p> <p>(3) 介護保険法にもとづく、居宅サービス事業・地域密着型サービス事業・居宅介護支援事業・介護予防サービス事業・地域密着型介護予防サービス事業・介護予防支援事業</p> <p><u>(4) 高齢者、障がい者等に対する居宅サービスおよび施設サービス事業</u></p> <p><u>(5) 幼児(病児を含む)・児童・生徒の放課後の預かり、および緊急時の幼児の泊りに関する事業</u></p> <p><u>(6) 安心して住める地域社会の実現に貢献する事業</u></p> <p><u>(7) レストランおよび配食サービス事業</u></p> <p><u>(8) まちづくり活動を行う団体等の支援事業</u></p> <p><u>(9) その他この法人の目的を達成するために必要な事業</u></p> <p>以下略</p>

第 4 号議案

役員改選について

定款第 11 条および 12 条による

MEMO

報告

2020年度事業計画

I. 事業方針

(1) 基本方針

年若いても、障がいがあっても、病気になっても安心して暮らせる地域社会をつくるため、特定非営利活動法人として社会的責任を果たすとともに、市民相互の助け合いのまちづくりをめざします。

(2) 運営方針

1. 組織運営

認定NPO法人ぐるーぷ藤は、趣旨書および定款にもとづき事業を行います。理事会の議決を経て事業と活動の方針について討議する運営会議を月1～4回行います。そこでまとめられた提案事項について毎月開かれる部門代表会議で検討し、その後全メンバーを対象に開催される運営報告会で活動を共有します。また、各部門会議において会員の意見交換を行いその内容を事業活動に反映させる運営をめざします。

昨年度は12名の新しい仲間を迎えそれぞれの部門で活躍してもらうことができました。新メンバーには言葉遣い・接遇マナー・就業規則などを盛り込んだ新人研修や5部門での約20時間の現場研修を通してぐるーぷ藤の歴史や理念、事業を理解してもらうよう努めます。法人全体として、Aヘルパー・初任者研修、介護福祉士・介護支援専門員・相談支援専門員・社会福祉士・精神保健福祉士・調理師等の資格取得を目標に活動するよう引き続き働きかけます。また、事業者・事業所ごとの評価指標を統一化してサービスの質の向上やモチベーションアップにつなげる為に介護プロフェッショナル・キャリア段位制度活用に向け、その取得者と評価者（アセッサー）の育成に努めます。

創設の理念を共有し継承することを大切にして、多様な働きかけを実践していきます。ホームヘルプを対人援助の基本と捉え、各部門のスタッフが在宅支援を経験することをすすめます。部門間の連携を密にし組織力を強め、スタッフのスキルアップにも一層力を入れます。

世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症については、終息の目途がたたない中、ご入居者・ご利用者・スタッフの感染防止に努めます。

また、一番館・二番館運営により見えてきたニーズに対応するため引き続き三番館建設の検討を進めます。

2. 事業・活動部門

2-1 訪問介護事業（ぐるーぷ藤ホームヘルプ）

ご利用者に寄り添いその方らしく暮らしていただくために心のこもったホームヘルプサービスで在宅生活を支えます。

本来事業では子育て支援、ご利用者らしい生活維持の為に保険外サービス、緊急時の対応等様々なニーズに応えぐるーぷ藤らしいサービスを行います。介護保険事業では、居宅介護支援事業所や地域包括支援センターと連携して、ご利用者の生活を大切に考え地域で安心して生活をしていただけるようにサービスを行っていきます。又、必要な方には関係機関と調整して次に繋がるような支援を行っていきます。障害者総合支援事業では、精神・知的・身体・児童と様々な障がいの方々の多様な依頼に、特性を理解して寄り添っていきます。

今年度も研修・会議等で対人援助の基本の確認を行い、きめ細かい介護力の向上に努めます。また、多職種と連携を図りながら多様な利用依頼に出来る限り応え、必要な時に必要な支援を提供できるように努力します。

2-2 通所介護事業（アクアデイ菜の花）

運動特化型デイサービスとして個別機能訓練を重視したプログラムを作成しその方に合った最適なプログラムを提供していきます。会話の中で日々の身体状況を知り、当日の状態を観察・把握しながらご利用者が安心・安全に運動器機能を向上できるように看護師・柔道整復師とスタッフが連携をとり実施します。

水中運動に加え、歩行機能と認知機能の改善を旨としたふまねっと運動を取り入れます。またアロマセラピストが調合したリラックス効果のあるオイルで、ストレスや体の不調が長引いて疲れた心と体の緊張をときほぐします。菜の花ならではのコグニサイズとして行う和太鼓は、毎年地域の夏祭りに参加する事を楽しみにレベルアップに挑戦します。

さまざまな外部研修に参加するとともに、スタッフの専門性を生かした内部研修を行います。その1つとして国土舘大学体育学部須藤明治教授による水中運動についての実技研修や講座を行い、どんな疾患にも対応できる知識を習得するよう研鑽に励みます。超音波流水プールの効果は市内のケアマネジャーや地域包括支援センター等に周知され、藤沢・鎌倉両市の事業所評価加算を取得しました。今後も情報発信を行い地域の健康寿命を延ばすことに貢献します。

2-3 居宅介護支援（ぐるーぷ藤ケアマネジメント）

認知症になっても疾病を抱えても住み慣れた地域で人生の最期まで住み続ける事を目標に、自己選択・自己決定・自己能力を尊重した自立を支援する介護のケアマネジメントに努めます。

心身の機能低下や体調の悪化により在宅生活が困難になったご利用者には、公的サービスと地域の社会資源を有効に活用したケアプランを作成し、大きな見守りの輪で支援ができる体制作りを行っていきます。実践にあたっては近隣の自治会や地区民生委員と連携し、必要に応じて情報共有を行うことが求められます。ご利用者のプライバシーに配慮し、きめ細やかなアセスメントと正確なモニタリングを常に心掛け適切なサービスの提案を行います。

サービス付き高齢者向け住宅では、入居から介護認定申請、ケアプラン作成等一貫したサービスを行い、同一法人内のサービス事業所やレストラン等の協力を得ながら入居のご利用者を支援します。

ご利用者にとってより良いプラン作成のため、外部研修の積極的参加と内部研修の充実で更なる知識の向上を心掛けていきます。

2-4 小規模多機能型居宅介護（ぐるーぷ藤 藤の花）

在宅生活を基本に「通い・泊り・訪問」を組み合わせたサービスでご利用者とご家族がいきいきと毎日を送れるように365日支援します。ご利用者の個性を大切に、集団でも自分らしく過ごせる環境作りと一人ひとりの意向を尊重した対応を行います。スタッフがご利用者に寄り添い、安心・安全で「笑い・喜び・望み」ある生活の継続に努めます。

季節のうつろいを感じるお出かけデイや多くのボランティアに協力を得て行うカルチャー、アクアデイ菜の花の超音波流水プールでご利用者の機能の維持向上につなげます。また、同一敷地内のサービス付き高齢者向け住宅の方々の急な体調不良、日常の様々な相談等いつでも対応できる体制を整えます。

柄沢の地に開設して4年目を迎え地域に開かれた施設として、防災訓練をはじめ近隣の方々が参加しやすいイベント開催等で連携・交流を図り、福祉のかけこみ寺として信頼される存在になります。地域密着型サービス事業所として地元町内会とも協働していきます。

今年度も研修に力を入れスタッフの研鑽を図り、小規模多機能型居宅介護の多様な可能性を広げていきます。

2-5 看護小規模多機能型居宅介護（ぐるーぷ藤 しがらきの湯）

医療ニーズの高い方や退院後の療養生活を送る方々が安心して在宅で暮らせるよう、「通い」「泊まり」「訪問介護」「訪問看護」「ケアプラン」のサービスを組み立て、在宅の受け皿としてトータルケアを行っていきます。「住み慣れた地域や自宅で最期を迎えたい」ご利用者と、「在宅で看取りたい」というご家族の思いに寄り添い一人ひとりに合わせ柔軟な支援をします。

穏やかな空間の中、生活リハビリを中心とした体力維持に努め、コミュニケーションを多くとることで信頼関係を築き、それぞれの方の笑い・喜び・希望を引

き出しサポートしていきます。また、自治会や子供たち、ボランティアの協力を得て外出の機会を多く持ち、地域との交流を図り社会とのつながりを大事にしていきます。

いつでも安心してご利用いただけるように、認知症や疾患の理解、虐待防止、終末期ケアに対する認識など独自の研修を行いスタッフのスキルアップに努めます。介護・医療の連携を深めるとともに、地域ネットワークを有効活用し包括的にサポートを行っていきます。

2-6 障がい者グループホーム（藤が岡の家・本藤沢の家）

ゆるやかなもう一つの家族として安心できる生活の場を提供していきます。日常生活の中での困り事を自ら解決する力を引き出し、高齢化による心身の状態の変化に上手に対応していけるよう支援を行っていきます。

◆ 藤が岡の家

複合施設の中にあるグループホームという特色を生かし、他部門の協力を得て、地元自治会のお祭り、防災訓練に参加するなど、様々な人と関わりを持てるよう支援していきます。高齢化による病状の変化に対応し、通所先の変更や日中の過ごし方の工夫をしていきます。看護師始め他のスタッフの温かい声かけや見守り、医療との連携を行い安定した生活が継続できるよう支援します。

◆ 本藤沢の家

自立したアパート暮らしに近い形で支援を受けながら、安心して暮らせるグループホームという特徴を生かし、毎日の夕食提供を中心に入居者とスタッフが一緒に様々な活動を行います。入居者同士の関係性を育み、就労先、日中支援事業所、医療等と連携しながら一人ひとりの生活力を高めて、それぞれの自立に向けてサポートします。

2-7 障がい者相談支援事業（計画サポートぐるーぷ藤）

障がいがある方やそのご家族の相談にのることで、その方なりの問題解決の方向性を共に探り、ご本人の最善の利益を考え意思決定支援を行っていきます。法人内に精神障がい者のグループホームを持つという特色を生かし、主として精神障がい者のサポートを行います。

在宅サービスの支援だけでなく、自立訓練施設・グループホームの利用者への支援、生活困窮の問題、成年後見の問題等、障がい以外の知識や行政等との連携、相談面接の技術が要求されます。相談支援専門員がさらに障がいの理解を深め、多種多様な問題に対応できるよう、これまで以上に研修に力をいれていきます。

出来る限り多くの依頼に対応したいと考えていますが、まずは一つひとつのケースに丁寧に対応することを大切にし、困難な問題については法人内だけでなく、広く連絡会等で様々な職種と連携します。

2-8 高齢者住宅（ぐるーぷ藤一番館）

「終の棲家」としてお住まいの方にその方らしく心豊かに暮らしていただき最期までご家族と共に寄り添うように努めます。ご入居者の希望や機能に応じて介護保険による看護小規模多機能型居宅介護、小規模多機能型居宅介護、ホームヘルプ、デイサービスなどを利用し、生活の質を維持できるよう支援します。主治医とコミュニケーションを密にし訪問歯科、訪問リハビリ、眼科など連携をとり健康管理を行っていきます。

また、暮らしの中で心の充実を図るためにお一人おひとりとの対話を大切にし、思いや望みを叶えられる機会を提案していきます。フロアでの集まりや外出など季節感を感じられる時間を持ち、穏やかで笑顔のある環境づくりに配慮します。

「おもてなしの心」を基本とし、スタッフ一同もう一つの家族としての役割を担えるよう知識・技術の習得に努めます。また、高齢で介護度も高くなったご入居者を念頭に置き、防災訓練を計画的に行いスタッフの防災意識をさらに高めていきます。

2-9 サービス付き高齢者向け住宅（ぐるーぷ藤二番館・柄沢）

介護資格を保有しているコンシェルジュと夜間対応の管理人を中心として、お住まいの方々に安心・安全・快適の住まいを提供していきます。お茶会や家族会などのイベントを通し日ごろのコミュニケーションを大切にしていきます。ご入居者に寄り添い個々の生き方を尊重しながら集合住宅としての援助を心がけ、満足度の高いサービス付き高齢者向け住宅の運営を行っていきます。

併設する介護保険事業所の応援を得て、法人の二番目の拠点としてご入居者や地域の安心を支える役割も担います。毎年好評な防災訓練も積極的に実施し、地域包括支援センターや近隣にさらに広く呼びかけを行い、スタッフの応援も得てイベントも実施します。NPOらしい地域の安心を支える福祉施設をめざします。

2-10 厨房及びレストラン オハナ

厨房では管理栄養士・調理師を配置し、高齢者住宅やグループホームにお住まいの方、看護小規模多機能型居宅介護をご利用の方に安全で栄養バランス豊富な料理を提供できるよう努力します。減塩食・胃腸食等にも素早く対応し皆様の健康の手助けが出来るようさらなるスキルアップに努めます。昨年度好評でした「ご当地メニュー」も引き続き提供いたします。

レストラン「オハナ」は、地域の高齢者から子育て世代の方やメンバーに、ほっと一息できるような居心地の良い空間が提供できるよう努めます。また、引き続き「本藤沢の家」の夕食提供を行います。

2-1-1 レストラン マハロ

レストラン「マハロ」ではサービス付き高齢者向け住宅にお住まいの方へ安全で栄養バランスの良い献立を作り、提供します。また、食事だけでなく憩いの場になるよう努めます。親睦会等も開催し皆様の生活が豊かになるよう努力します。小規模多機能型居宅介護の厨房として介護食・減塩食などにも対応し、季節感のある献立を楽しんでいただきます。緊急時にはお弁当の提供も行います。

「ぐるーぷ藤二番館・柄沢」全体の食を担い、コンシェルジュや他部門のスタッフと連携を取りながらお住まいの方の日々の様子を見守ります。

2-1-2 総合相談窓口

総合相談窓口では看護師・保健師・介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士・ケアマネジャー等が常駐し、地域の駆け込み寺として福祉・医療・住まいに関するあらゆる相談に応じます。地域の福祉活動をしてきた経験を生かし、緊急のSOSに24時間対応するとともに、必要に応じて弁護士・民生委員・地域包括支援センター・地域ささえあいセンター「ヨロシク♪まるだい」・子どもの生活支援事業「こども♪まるだい」・認知症カフェ「オレンジ・まるだい」・居住支援チーム「住まいる藤」等に橋渡しをする、NPO版地域包括支援センターの役割を担います。また、税理士による税務相談や保健師・看護師による健康相談も継続します。

これからも「福祉のまちづくり」をめざす一環として、相談者に向き合いながら丁寧に対応します。

2-1-3 地域ささえあいセンター (ヨロシク♪まるだい)

「ヨロシク♪まるだい」では温かい食事を通して地域の方々が気軽に立ち寄れる憩いの場・居場所を提供していきます。地域の中で孤立したり、生活に不自由を感じている人に手助けをし、また働く意欲のある人の働く場でもあります。

終活セミナー、認知症サポーター養成講座、おしゃべり会、認知症カフェ「オレンジ・まるだい」は地域の中で顔の見える関係を作り、誰もが気軽に参加できるよう継続、開催していきます。

生活支援コーディネーターとして利用者の相談に対応し、ニーズを把握、社会資源の発掘とマッチングに努めます。地域包括支援センター、民生委員、自治会員、行政等と連携し、藤沢地区支え合い会議、生活支援コーディネーター会議等では情報交換、意見交換を行い他の縁側事業者と共に手を取り合って地域作りに努めます。

2-14 子どもの生活支援事業（こども♪まるだい）

地域の温かい環境の中で子どもたちに、「安心して過ごせる居場所」、保護者には「安心して子どもを託せる場所」を提供していきます。家庭的な雰囲気を感じてもらい温かいものは温かいうちに食べてもらえるようこだわりを持って提供します。好みや環境の違う子どもたちが、みんなで揃って同じものを食べることで基本的な生活習慣を身につけられるよう支援していきます。

学生ボランティアやスタッフと一緒に宿題をしたりゲームを楽しみます。季節毎の様々なイベントや農福連携事業等を通じて、地域との繋がりを子どもたち自身が感じられ、地域の中で健やかに成長できるよう見守り支援していきます。

3. 管理部門

ぐる一ふ藤総体の事務局として管理運営に責任をもち効率的に業務を遂行できるよう努めます。各部門の請求業務、官公庁への各種届出、他団体や業者との折衝を確実にを行います。予算の執行にあたっては、人員配置・物品管理・水道光熱費すべてにおいて無駄を省き経費節減に配慮します。一番館の修繕計画作成とともに円滑に修繕や物品購入が着手できるよう努めます。

昨年度から始まった働き方改革のひとつである有給休暇の確実な取得を促していきます。事業拡大によって増加する個人情報保護には、なお一層配慮し、セキュリティの管理を徹底します。

3-1 会員（メンバー）と福利厚生

まちづくりの理念に賛同する仲間を増やします。それぞれのメンバーの資格や能力を生かして、皆が自分らしく、はつらつと働ける多様な職場づくりをめざし自己実現の場をつくりまします。多くのメンバーが参加し親睦を深められる交流会の開催、有給休暇の取得の推進、スタッフの腰痛予防研修、健康診断、各種食事代補助、休業補償など一層の福利厚生の充実に努めます。

3-2 広報活動

地域に定着してきた広報誌「花どけい」は、ご利用者や見学者へ提供するとともに各種講演会でも街づくりの情報発信の媒体として有効活用していきます。

「ぐる一ふ藤二番館・柄沢」入居希望者や問い合わせの方、「アクアデイ菜の花」をご検討の方、居住支援を必要とされている方、そのご家族やケアマネジャーのニーズにも合わせた資料を準備し、配布します。

ホームページでは、分かりやすくタイムリーに藤の活動や情報を発信していきます。更に、認定NPO法人について紹介し、多くの方々がぐる一ふ藤の街づ

くりについて興味を持てるような資料の作成をします。また、メディアの取材等を通しぐる一ふ藤の活動を広報していきます。

4. 研修プロジェクト

ご利用者のニーズを的確に把握し柔軟に対応するためには、メンバー一人ひとりに高度なスキルが要求されます。また、日々の業務の中で各メンバーが目標に向かって自己実現を図ることが藤全体の介護の質を高めていくと考え、今年度も『理念と意思の共有』『スキルアップ』『新しい介護』を学びの3本柱として研修プロジェクトを引き続き設置します。

メンバー及び地域社会のニーズに合わせた介護技術や幅広い知識の習得を目的に研修計画を策定するとともに、キャリアパスに対応した体系的・継続的な研修を組み立てていきます。

28回を迎える三重大学教授竹内佐智恵先生の研修、医療公開講座等に加え、地域の方へ向けた新たな研修も計画します。昨年度開催した厚生労働省「介護プロフェッショナル・キャリア段位制度」のレベル認定に対応した「根拠ある介護」に基づき統一した介護の研修に取り組みます。

5. 安全衛生委員会

産業医の協力を得て保健師を中心に定期的に委員会を開催し、事業所の職場環境および会員の健康保持について情報の共有化を図ります。

腰痛予防のため各部門と協力しながら予防体操を行います。また「心の相談」窓口として三重大学教授竹内佐智恵先生の協力をいただき、会員が直接相談できるようさらなる周知に努めます。熱中症、食中毒、感染症の予防に力を入れるとともに、「ストレスチェック」実施結果を生かしメンタルヘルスの不調を未然に防止するよう努めます。

また、新型コロナウイルス感染防止に向け、引き続き取り組んでいきます。

6. 防災委員会

昨年度に引き続きぐる一ふ藤全体で防災対策の整備と取り組みを企画検討する目的で、各部門からの代表者を構成員として防災委員会を設置します。

一番館・二番館合同訓練では様々な災害を想定した防災訓練を行います。またリスト化された防災用品・備蓄食料の在庫管理を行ない、計画的に更新します。課題であった災害本部の設置を含む法人防災マニュアルを完成させます。

一番館・二番館ともに地域の防災拠点としての役割を担うと共に、ぐる一ふ藤全体で、過去の大規模災害等の教訓を生かし災害についての知識を身につけ、防災意識の向上に努めます。

7. 居住支援チーム 住まいる[♠]藤

2018年9月より高齢者、障がい者、低所得者、子育て世帯等の民間賃貸住宅への入居に関わる情報提供、相談、見守り等の入居支援・生活支援を行う法人として神奈川県指定を取り国土交通省の受託事業として始まった「住まいる・藤」の活動も3年目に入り本格化してきました。

昨年度に引き続きケアマネジャー、障害相談支援専門員、精神保健福祉士、社会福祉士、介護福祉士、宅地建物取扱主任者、藤沢市生活支援コーディネーター等の資格を持つ10名のスタッフが、ぐる一歩藤総体の協力を得て、話し合いをしながら活動を進めていきます。

住宅確保要配慮者への住まい探し・マッチングの後の入居者の生活スタイルに最適な居住継続支援を行うために、法人内に組織された『100人の住まいる隊』が本格的な活動を始めます。様々な事情を抱えた方からの依頼に出来る限り寄り添って、安定した生活が継続できるように支援していきます。

学習会、セミナーを開催し居住支援についての相互理解を深め、広報誌「花どけい」、ホームページ、地域のメディア等を駆使し多くの方に活動の周知を図ります。市役所関係各課や他の居住支援法人、不動産店、大家さん等と連携し、安心して住める街づくりネットワーク・居住支援協議会の活動を構築していきます。

8. 外部活動

幼児教室どんぐり園、コンフォール藤沢自治会、柄沢町内会、ボランティアすみれ及び他団体と連携しながら地域に根ざした活動を行います。今年度も地道な活動をするNPOや地域の団体・行事等に「まちづくり対策費」を活用しそれぞれの活動を支援します。

諸団体での役割は以下の通りです。

- ・認定NPO法人市民福祉団体全国協議会 代表理事
- ・一般社団法人市民福祉支援協議会 代表理事
- ・民間介護事業推進委員会 委員
- ・藤沢市個人情報保護制度運営審議会 委員
- ・藤沢市住まいと暮らし連絡会 委員
- ・藤沢市精神障がい者地域生活支援連絡会 委員
- ・ふじさわ福祉NPO法人連絡会 代表
- ・藤沢市相談支援連絡会 委員

介護保険はじめ福祉に関して市民の立場に立った提案をしていきます。さらに各種講師等の機会を通して、ぐる一歩藤の活動を広く紹介するとともに啓発活動を行います。

Ⅱ. 事業内容

1) 特定非営利活動に係る事業

(1) 家事、介護、育児等に関する生活支援サービスおよび相談事業

●本来事業

- ① 内 容：高齢者、障がい者などの介護、家事援助および産後、育児等の生活支援および相談
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市およびその近接地域
- ④ 従事者人員：50名
- ⑤ 対 象 者：40名
- ⑥ 事 業 費：¥1,272,000

(2) 地域福祉の向上に向けた学習および研修、啓発を図る事業

●介護講座等

- ① 内 容：介護講座
- ② 日 時：6月、7月、11月
- ③ 場 所：ぐる一ふ藤一番館・藤が岡、ヨロシク♪まるだい
- ④ 従事者人員：15名
- ⑤ 対 象 者：藤会員およびさわ会員、地域の方
- ⑥ 研 修 費：¥210,000

(3) 介護保険法にもとづく事業

●訪問介護事業

- ① 内 容：介護保険対象者への訪問介護サービスの提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市域
- ④ 従事者人員：50名
- ⑤ 対 象 者：75名
- ⑥ 事 業 費：¥9,240,200

●通所介護事業

- ① 内 容：介護保険対象者への通所介護サービスの提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市域
- ④ 従事者人員：17名
- ⑤ 対 象 者：230名
- ⑥ 事 業 費：¥20,280,500

●居宅介護支援事業

- ① 内 容：介護保険対象者への居宅介護支援サービスの提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市域
- ④ 従事者人員：5名
- ⑤ 対 象 者：100名
- ⑥ 事 業 費：¥8,532,200

●小規模多機能型居宅介護事業

- ① 内 容：介護保険対象者に「通い」を中心として「泊まり」「訪問」を組み合わせたサービスの提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市域
- ④ 従事者人員：30名
- ⑤ 対 象 者：29名（登録定員）
- ⑥ 事 業 費：¥42,976,600

●看護小規模多機能型居宅介護事業

- ① 内 容：医療依存度の高い介護保険対象者に看護を組み合わせた「通い」を中心として「泊まり」「訪問」「訪問看護」の提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市域
- ④ 従事者人員：30名
- ⑤ 対 象 者：29名（登録定員）
- ⑥ 事 業 費：¥53,548,000

(4) 高齢者・障がい者等に対する居宅介護支援および施設サービス事業

●高齢者住宅

- ① 内 容：高齢者に終の棲家としての住宅及び生活支援サービス提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢地区
- ④ 従事者人員：30名
- ⑤ 対 象 者：21名
- ⑥ 事 業 費：¥38,948,000

●サービス付き高齢者向け住宅

- ① 内 容：高齢者の居住の安定確保、安心を支えるサービスの提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：村岡地区
- ④ 従事者人員：5名
- ⑤ 対 象 者：50名
- ⑥ 事 業 費：¥12,866,400

●居宅介護サービス事業

- ① 内 容：障がい者総合支援法対象者への訪問介護サービスの提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市域
- ④ 従事者人員：50名
- ⑤ 対 象 者：65名
- ⑥ 事 業 費：¥10,419,800

●障がい者グループホーム

1. 藤が岡の家

- ① 内 容：障がい者総合支援法対象者へのグループホームの提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢地区
- ④ 従事者人員：5名
- ⑤ 対 象 者：6名
- ⑥ 事 業 費：¥5,382,000

2. 本藤沢の家

- ① 内 容：障がい者総合支援法対象者へのグループホームの提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：善行地区
- ④ 従事者人員：7名
- ⑤ 対 象 者：11名
- ⑥ 事 業 費：¥13,092,000

●障がい者相談支援事業

- ① 内 容：障がい者総合支援法対象者への相談支援サービスの提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市域
- ④ 従事者人員：5名
- ⑤ 対 象 者：50名
- ⑥ 事 業 費：¥1,894,400

(5) 安心して住める地域社会の実現に貢献する事業

●地域ささえあいセンター（ヨロシク♪まるだい）

- ① 内 容：1.生活支援コーディネーターが中心になり誰もが気軽に立ち寄れる通いの場を提供し、地域資源等と連携しさまざまなニーズの把握に努める（委託事業）
2.まるだい食堂での食事の提供やミニディ、介護・医療相談等通いの場の運営（補助金事業）
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢地区
- ④ 従事者人員：20名
- ⑤ 対 象 者：多数
- ⑥ 事 業 費：¥13,725,747

●子どもの生活支援事業（こども♪まるだい）

- ① 内 容：子供の生活支援事業
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢地区
- ④ 従事者人員：10名
- ⑤ 対 象 者：25名
- ⑥ 事 業 費：¥3,856,000

●居住支援事業（住まいる[▲]藤）

- ① 内 容：住宅確保要配慮者への住まい探し、マッチングの後の入居者の生活スタイルに最適な居住継続支援
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市域
- ④ 従事者人員：14名
- ⑤ 対 象 者：92名
- ⑥ 事 業 費：¥4,000,000

（6）レストラン・厨房事業

●レストランオハナ・厨房事業

- ① 内 容：ぐる一ふ藤利用者への食事提供
一番館で働くスタッフおよび一般の方へのレストラン運営
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢地区
- ④ 従事者人員：15名
- ⑤ 対 象 者：多数
- ⑥ 事 業 費：¥20,939,000

●レストランマハロ・厨房事業

- ① 内 容：サ高住にお住まいの方、ぐる一ふ藤 藤の花利用者、
二番館で働くスタッフ、その他近隣の方への食事提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：村岡地区
- ④ 従事者人員：10名
- ⑤ 対 象 者：80名
- ⑥ 事 業 費：¥16,035,000

（7）まちづくり活動を行う団体等への支援事業

●まちづくり対策費

- ① 内 容：まちづくり活動を行うNPO法人、障がい者団体等や被災地支援活動を行う団体等に対する寄附事業
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市域、他被災地等

- ④ 従事者人員：5名
- ⑤ 対象者：10～15団体
- ⑥ 事業費：¥360,000

(8) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

●総合相談窓口

- ① 内 容：福祉・医療に関する相談業務
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢地区
- ④ 従事者人員：10名
- ⑤ 対象者：多数

※各事業費に事業間接費は含まず

2020年度活動予算書（特定非営利活動に係わる事業）

2020年4月1日から2021年3月31日まで

NPO法人ぐるーぶ藤

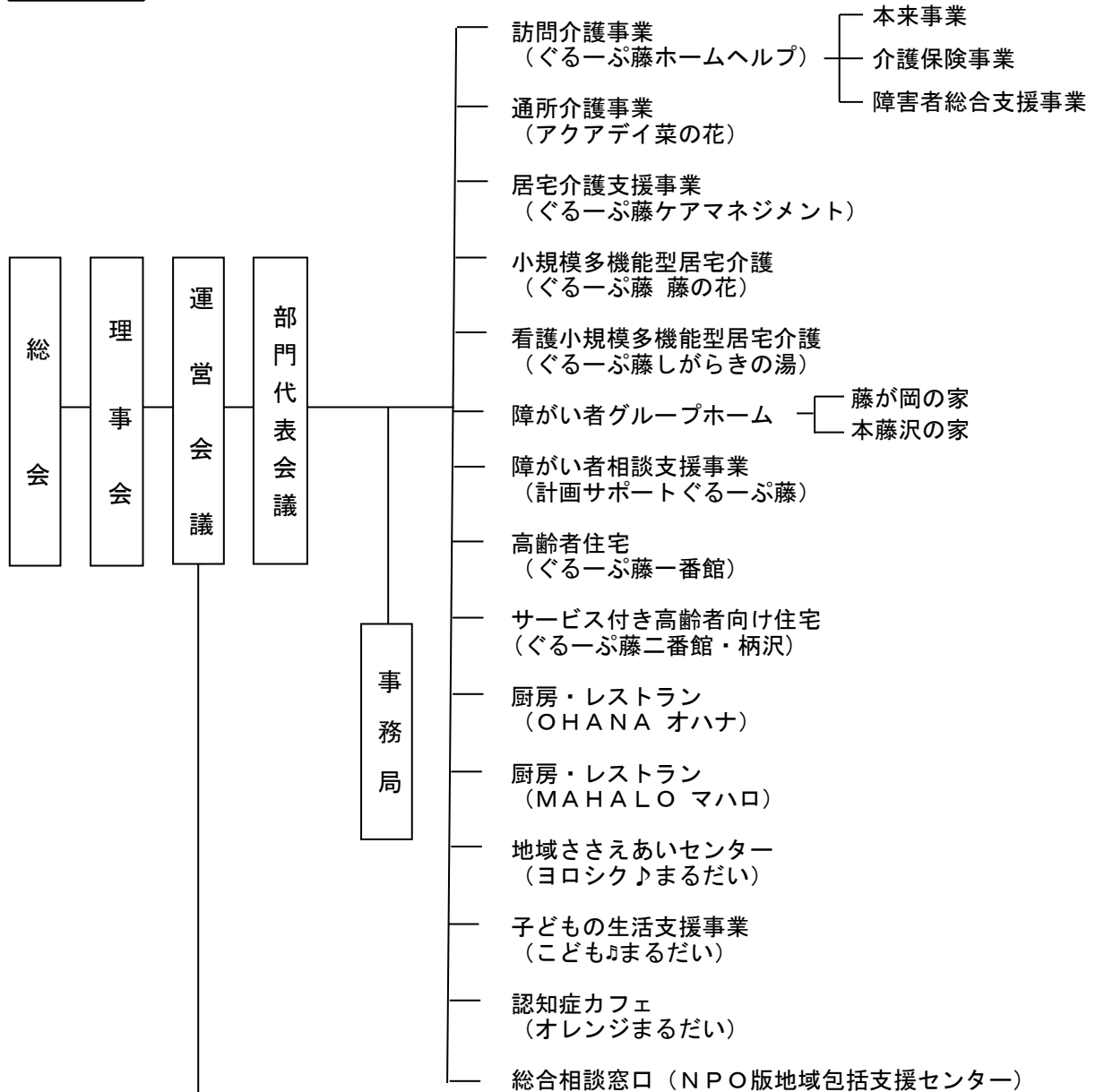
（単位：円）

科 目	金	額
I 経常収益		
1 受取会費		
藤会員年会費等収入	15,000	
さわ会員年会費等収入	70,000	
賛助会員年会費等収入	15,000	100,000
2 受取寄付金		
寄付金収入		1,200,000
3 受取助成金等		
助成金・補助金収入	7,103,000	
委託金収入	8,408,600	15,511,600
4 事業収益		
事業収入		447,820,000
5 その他収益		
雑収入		3,091,000
経常収益 計		467,722,600
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給料手当等	201,515,000	
有償ボランティア	3,591,000	
通勤交通費	3,285,000	
福利厚生費	348,000	
人件費 計	208,739,000	
(2) その他経費		
食材費	17,274,000	
印刷製本書籍費	1,804,000	
会議・研修費	596,000	
旅費交通費	2,596,000	
通信費	2,403,000	
消耗品費	7,280,000	
修繕費	1,420,000	
水道光熱費	11,991,000	
家賃支出	8,537,000	
リース料	7,267,700	
減価償却費	557,647	
生活支援CD事業費	1,896,000	
保険料・管理諸費	3,814,700	
街づくり対策費	360,000	
雑費	831,800	
その他経費 計	68,628,847	
(3) 事業・間接費		
給料手当等	49,153,000	
賞与手当	11,000,000	
法定福利費	30,642,000	
地代支出	4,800,000	
支払利息	18,730,000	
租税公課	7,107,000	
減価償却費	39,753,000	
事業・間接費 計	161,185,000	
事業費 計		438,552,847

2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当等	2,870,000		
有償ボランティア	420,000		
通勤交通費	316,000		
福利厚生費	2,029,000		
人件費 計	5,635,000		
(2) その他経費			
印刷製本書籍費	168,000		
会議費	394,000		
旅費交通費	586,000		
販売物品費	1,200,000		
通信費	534,000		
消耗品費	201,000		
修繕費	170,000		
水道光熱費	216,000		
家賃支出	420,000		
リース料	6,854,100		
研修費	1,377,000		
交際費	100,000		
保険料	1,624,190		
管理諸費	3,801,000		
雑費	850,000		
その他経費 計	18,495,290		
管理費 計		24,130,290	
経常費用 計			462,683,137
当期経常増減額			5,039,463
III 経常外収益			
経常外収益 計			0
IV 経常外費用			
経常外費用 計			0
税引前当期正味財増減額			5,039,463
法人税、住民税及び事業税			70,000
当期正味財産増減額			4,969,463
前期繰越正味財産額			119,350,337
次期繰越正味財産額			124,319,800

資料

2020年度ぐるーぷ藤組織図



- 居住支援チーム(住まいる藤)
- 安全衛生委員会
- 研修プロジェクト
- 花どけい編集委員会
- 交流会企画委員会
- 防災委員会

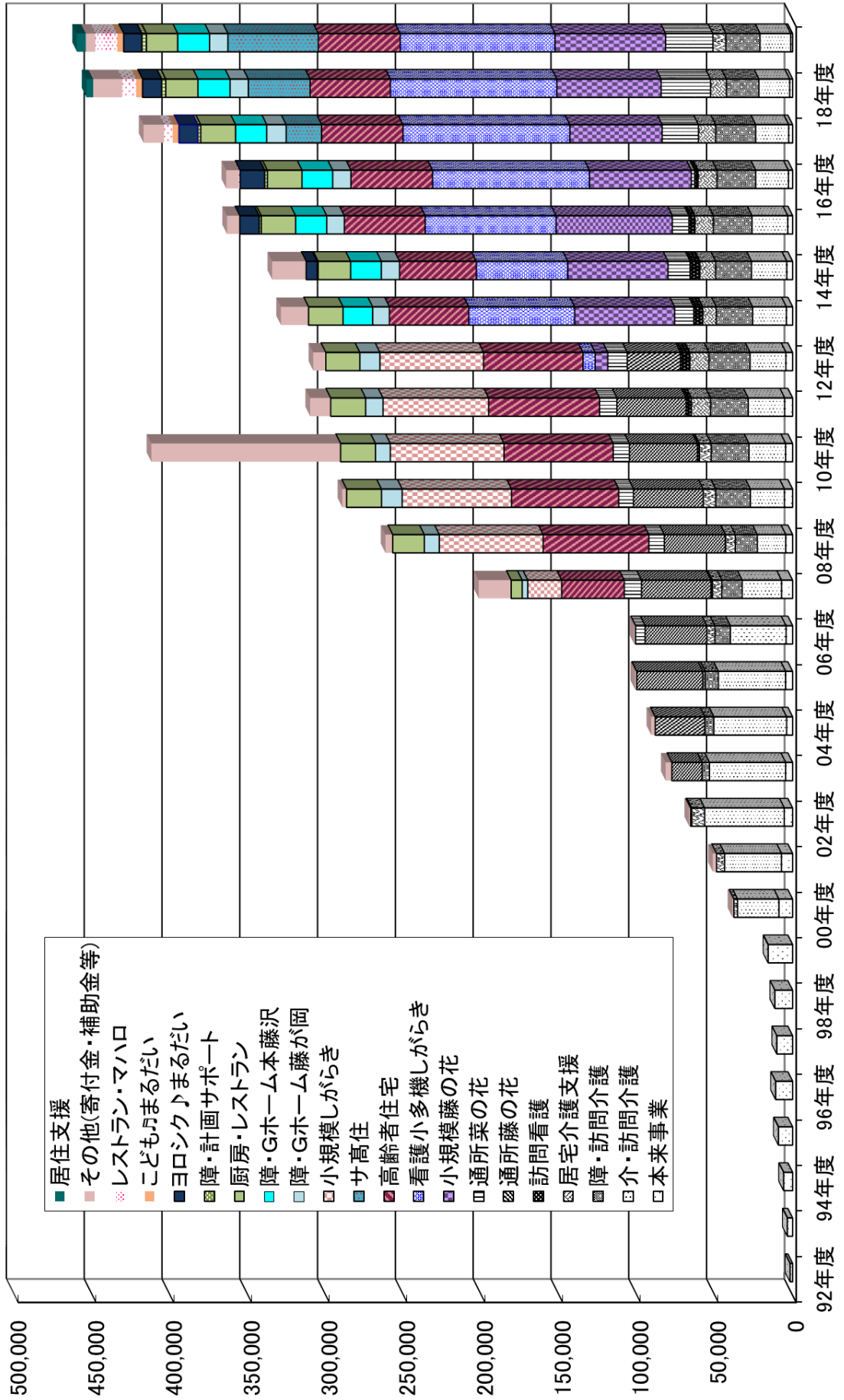
※ボランティアすみれ

◆メンバー構成◆ 2020.3.31 現在

年代	人数	割合
20代	4名	3%
30代	6名	5%
40代	32名	23%
50代	41名	26%
60代	43名	28%
70代	22名	13%
80代	2名	1%
90代	1名	1%
合計	151名	

28年間の事業高推移(1992年～2019年)

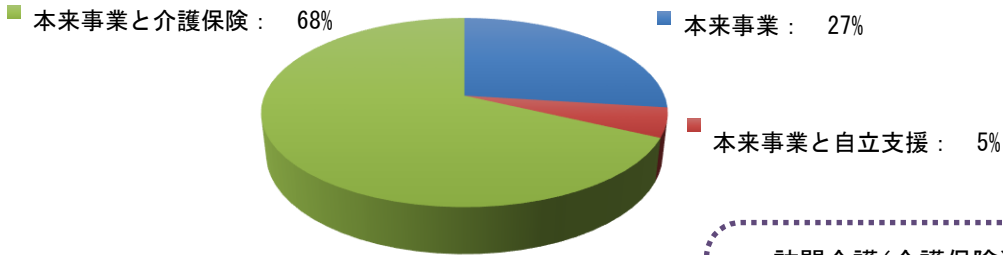
千円



ご利用者 分布

(2020年3月)

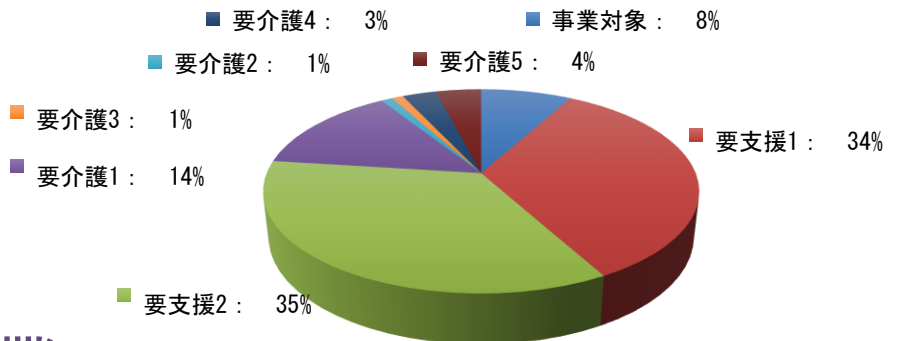
訪問介護(本来事業)



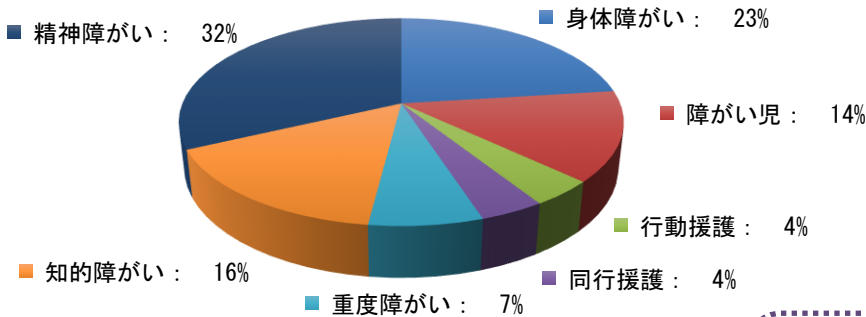
年齢	%
50歳代	4%
60歳代	9%
70歳代	23%
80歳代	41%
90歳代	23%

訪問介護(介護保険)

年齢	%
50歳代	1%
60歳代	4%
70歳代	25%
80歳代	52%
90歳代	17%
100歳代	1%

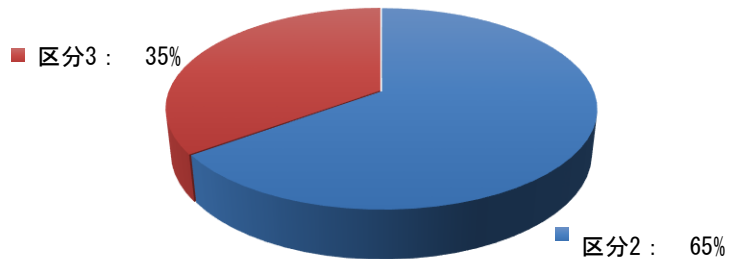


訪問介護(障がい者総合支援)

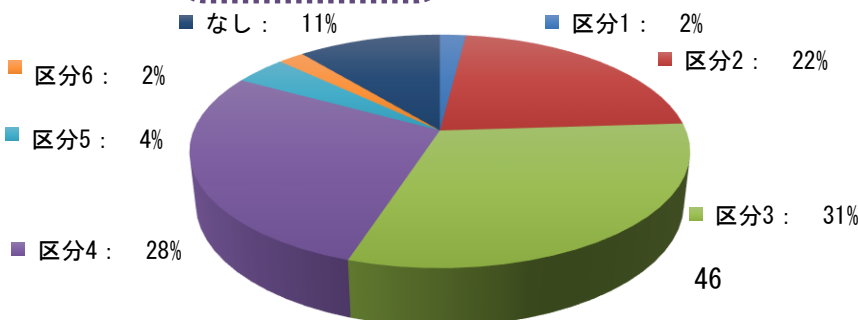


年齢	%
10歳代	27%
20歳代	9%
30歳代	2%
40歳代	14%
50歳代	32%
60歳代	9%
70歳代	7%

障がい者グループホーム

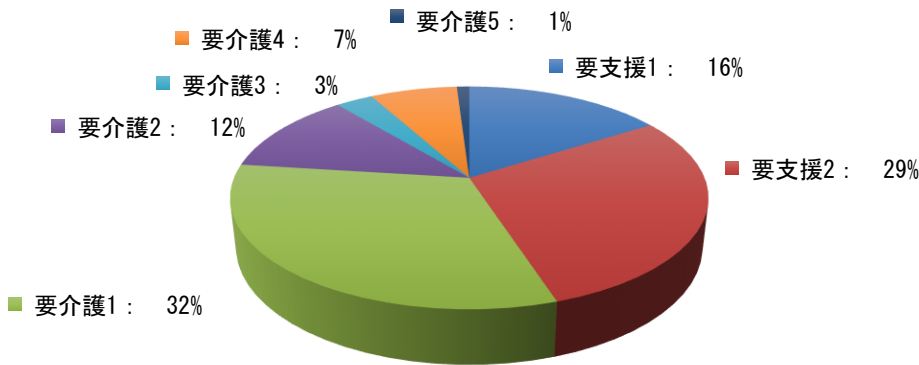


計画サポート



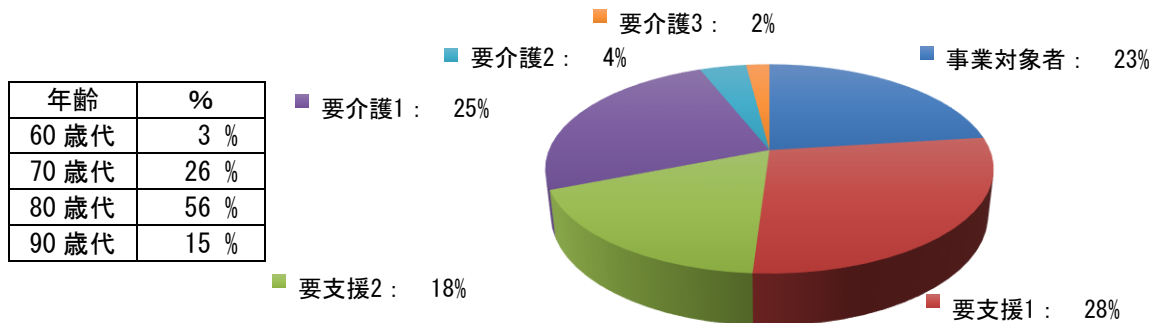
年齢	%
20歳代	13%
30歳代	19%
40歳代	24%
50歳代	35%
60歳代	9%

居宅介護支援



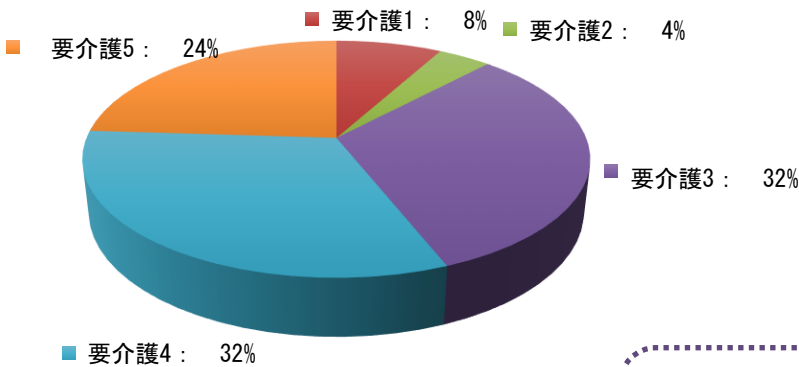
年齢	%
50 歳代	1 %
60 歳代	4 %
70 歳代	23 %
80 歳代	53 %
90 歳代	19 %

通所介護(アクアデイ菜の花)



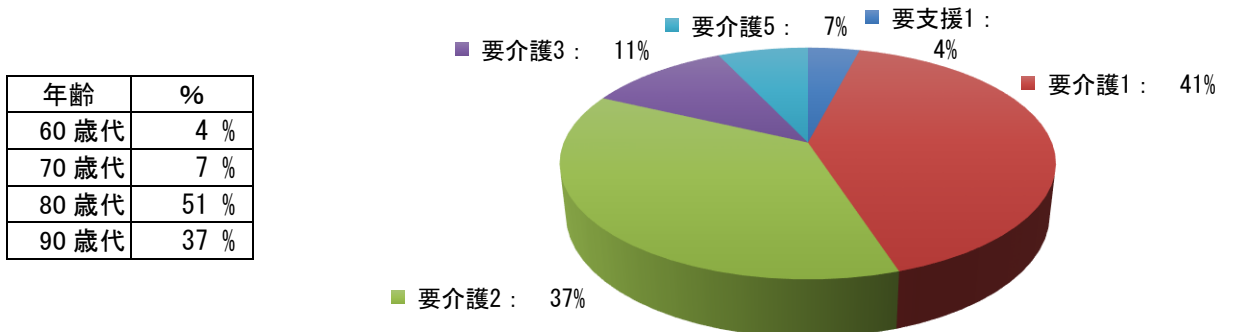
年齢	%
60 歳代	3 %
70 歳代	26 %
80 歳代	56 %
90 歳代	15 %

看護小規模多機能型居宅介護(しがらきの湯)



年齢	%
70 歳代	12 %
80 歳代	48 %
90 歳代	40 %

小規模多機能型居宅介護(藤の花)



年齢	%
60 歳代	4 %
70 歳代	7 %
80 歳代	51 %
90 歳代	37 %

2019年度 全体研修・部門別研修

		月 日	名 称
全体研修・部門外研修	内部研修	4月26日	新入会研修
		8月6日	せっけん講習会
		8月10日	ハラスメント研修
		8月10日	竹内先生の介護講座
		9月7日	精神保健研修 心の病～身近な病気～
		9月14日	法令遵守
		9月9日～10月28日 (5回)	スキルアップ研修
		9月14日	「須藤先生の水中運動講座」
		11月9日	個人情報とプライバシー
		11月7～28日 (7回)	理事長と語る会
		11月30日	藤・すみれ共催「認知症に方への接し方～正しい知識と優しい寄り添い方」
		1月25日	救命救急講習
		外部研修	4月17日
	6月15日		市民協2019年度総会記念セミナー 主催：市民協
	7月18日		休眠預金 主催：市民協
	7月20日,21日		地域包括ケアシンポジウム
	8月8日・12月25日		食事サポーター講座 主催：NPO法人口から食べる幸せを守る会
	9月13日,2月19日		地域協働会議「8050問題についてワールドカフェで考えよう」主催：藤沢病院
	10月22日		共に考える居住支援 主催：住まいる藤
	11月15日～1月19日 (全6回)		「根拠ある介護」研修 主催：市民協
	11月20日		喀痰吸引・胃ろう研修 主催：神奈川県
	12月14日		市民講演会「高齢化するひきこもり」主催：藤沢市精神障がい者地域生活支援連絡会・藤沢市保険予防課
	12月14日		コミュニケーション研修 主催：藤沢市住まいと暮らし連絡会・神奈川県知的障害福祉協会湘南東部地区
	1月16日		コミュニティーソーシャルワーカーの活動 主催：藤沢市精神障がい者地域生活支援連絡会・藤沢市保険予防課
	1月20日	共に考える居住支援part2 主催：住まいる藤	
2月17日	ボイストレーニングリハビリ 主催：クローバーヴィラ		
部門別研修	ヘルプム	4月～3月(10回)	ヘルパー会議研修「ケアマニュアル、研修計画の確認、認知症について」
	一番館	4月～3月(11回)	スタッフ会議研修「認知症及び認知症ケアについて」他
		4月～3月(11回)	スタッフ会議独自研修「高齢者虐待とは」他
	菜の花	4月～3月(9回)	スタッフ会議研修「事業所理念の共有と目標の作成」他
2月21日		栄養・食事よもやま話 主催：藤沢市介護事業所連絡会	

		月 日	名 称
部門別研修	藤の花	4月～3月(9回)	スタッフ会議研修「事故発生予防又はその再発防止」
		7月18日	ご存知！三太郎で介護予防 支援者のためのセミナー 主催(公財)かながわ健康財団
		10月11日	VRで見る認知症の人の世界 主催:パナソニックエイジフリーショップ
	しがらきの湯	4月～3月(11回)	スタッフ会議研修 「非常災害時の対応」他
		4月～3月(10回)	しがらき独自研修 「身体拘束」他
		5月30日	ACPIに基づいた高齢者救急医療 主催:藤沢市医師会
	厨房	4月～2月(6回)	厨房部門研修「ソフト食について」他
		4月25日	「ワインと食と健康」 主催:湘南藤沢徳洲会病院
		5月29日	衛生講習会
		11月12日	介護施設における栄養ケア・マネジメント 主催:CareTEX One 事務局
		2月14日	介護ケアフードショー 主催:プティックス(株)
	マハロ	4月～3月(6回)	部門研修「軽減税率の理解」他
	藤が岡の家・本藤沢の家	4月～3月(7回)	家ミーティング研修「他事業所見学」他
		6月6日	記録書の書き方～グループホームでの記録の意義と重要性～主催:かながわ福祉サービス振興会
		6月19日	第2回障害者グループホーム職員研修 「本人の意思～グループホームでの意思決定支援について～」 主催:かながわ福祉サービス振興会
		6月26日	精神障害GHIにおける医療との連携 主催:かながわサービス振興会
		6月30日	自閉症児者支援を学ぶ 主催:藤沢市発達障がい者相談支援事業所リート
		7月11日	第4回障害者グループホーム職員研修「利用者の高齢化と介護保険への移行の仕方」主催:障害者グループホームサポートセンター
		7月23日	第5回障害者グループホーム職員研修「利用者の性に関する支援」主催:障害者グループホームサポートセンター
		8月1日	藤沢市住まいと暮らし連絡会施設見学「湘南希望の郷」
		8月27日	第7回障害者グループホーム職員研修「精神障害の理解～生活のしづらさの理解とグループホームでの関わり方～」 主催:かながわ福祉サービス振興会
		9月5日	藤沢市住まいと暮らし連絡会特養施設見学「共生会・カメラアふじさわ」主催:藤沢市住まいと暮らし連絡会
		11月21日	知っていますか？個人情報～個人情報に関する法律～主催:藤沢市精神障害者地域生活支援連絡会
		2月2日	施設見学「藤沢病院他」 主催:藤沢市住まいと暮らし連絡会
	計画サポートぐるーぷ藤	4月～3月(2回)	施設見学
		5月10日	精神保健福祉地域支援研修 「アンガーマネジメントの基礎」～怒りと上手に付き合う～ 主催:神奈川県精神保健福祉センター
		5月30日	コミュニケーション研修 主催:かながわ共同会愛名やまゆり園
7月5,6日		相談支援専門員専門コース別研修「地域移行・地域支援」主催:かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク	
9月26日		えぼめいく事例検討会 主催:えぼめいく	
10月10日		かながわ共同会 愛名やまゆり園「アンガーマネジメント」主催:愛名やまゆり園	
10月22日		薬と健康の週間イベント「薬剤師をより身近に」「孤立による薬物依存」主催:藤沢市薬剤師会	
12月2日		自殺対策基礎研修2 主催:神奈川県精神保健福祉センター	
1月27日		当事者主体を考える～ペテルの家～	
2月20日		「How toではなくWhyの面談をしていますか」 主催:湘南東部地区障がい者就労支援推進協議会	

		月 日	名 称
部門別研修	事務局	4月～3月(7回)	事務局研修「働き方改革に伴う事務処理等について」他
		7月24日	ストレスマネジメントセミナー
		8月5日	福祉介護職員等特定処遇改善加算について 主催:神奈川県子どもみらい局
	ぐるーぷ 藤ケア マネジ メント	4月～3月(3回)	ミーティング研修「事業所見学会」他
		4月11日	多職種連携推進研修会「ケアマネさんと一緒に日ごろの問題を解決しよう」
		4月18日	藤沢市ケアプラン点検事業研修「ケアプラン点検結果から考える」主催:藤沢市介護保険課
		5月11日	賢い施設の選び方 主催:ふれあいグループ
		5月17日	家族信託 主催:藤沢市村岡包括支援センター
		5月27日	ケアマネサロン 弁護士に聞きたい! 主催:藤沢市鶴沼南、村岡包括支援センター
		5月30日	地域ケア会議研修会 主催:藤沢市地域包括ケアシステム推進室
		6月17日	多職種研修会「助の概念の在り方」主催:藤沢市在宅支援センター
		8月8日	地域包括ケアケア会議 主催:藤沢市村岡包括支援センター
		9月12日	村岡地区ケアマネサロン「一人暮らしの高齢者の終活～後見のはなし～」主催:藤沢市村岡包括ケアマネサロン
		10月18日	高齢者の生活を守る～詐欺被害、行方不明、高齢者ドライバーについて～主催:ケアマネ連絡協議会
		10月19日	傾聴セミナー「コミュニケーションの極意は傾聴力」
		10月30日	鶴沼地区団体交流会「つながろう鶴沼」主催:藤沢市鶴沼包括支援センター
		11月22日	南部グループ会議～ケアプラン点検の経験を生かした事例検討会 主催:ケアマネ連絡協議会
	1月29日	ケアマネ資質向上研修「医療連携を学ぶ」 主催:ケアマネ連絡協議会	
	まるだ い	9月16日	食品衛生責任者研修 主催:神奈川県食品衛生協会
		11月22日	誰も残さない災害対策 主催:藤沢市
		1月9日	地域福祉コーディネーター養成講演会「地域支援のかたち」 主催:神奈川県平塚保健福祉事務所
	「居住 支援チ ーム 藤」	7月18日	「住宅セーフティネット制度について」～居住支援の取り組みの実際～主催:藤沢市精神障がい者地域生活支援連絡会
		9月13日	「心理的瑕疵をめぐる裁判例から」主催:神奈川県居住支援協議会
		9月19,20日	居住支援セミナー「居住支援法人の課題と対策」主催:市民協
		11月29日	住宅セーフティネット制度説明会横浜「不動産店とつながって居住支援」主催:神奈川県居住支援協議会
		12月3日	住宅セーフティネット制度説明会平塚「不動産店とつながって居住支援」主催:神奈川県居住支援協議会
		1月27,28日	大阪オレンジコープ見学研修

年間活動一覧

2019年4月～2020年3月

月	日	内部活動	日	研修、学習	日	外部活動
4月	2	ホームヘルプミーティング	11	多職種連携推進研修会「ケアマネさんと一緒に日ごとの問題を解決しよう」	4	藤沢市住まいと暮らし連絡会
	5	運営会議	17	新任福祉・介護施設職員合同交流・研修会 主催：県社会福祉協議会	8	せつげんと仲間の会
	7	厨房ミーティング	18	藤沢市ケアプラン点検事業研修「ケアプラン点検結果から考える」	11	藤沢市個人情報保護制度運営審議会
	8	しがらきリーダー会議		主催：藤沢市介護保険課	12	16, 18, 22 認定NPO法人市民福祉団体全国協議会（市民協） 及び 一般社団法人市民福祉協議会（CWC）理事会
	9	部門代表会議	25	公開医療講座「ワインと食と健康」 主催：湘南藤沢徳州会	16	ふじさわ福祉NPO法人連絡会
	10	ヨロシクまるだいきッチンボラスタッフ会議	26	新入会研修 主催：研修P J	22	生活支援コーディネーター連絡会
	11	こどもまるだいきーティング			25	第1回相談支援連絡会
	13	第1回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議			27	コンフォール藤沢自治会総会
	15	藤の花リーダー会議、事務局会議				
	18	ヨロシクまるだいきーティナー会議				
	18	税理士打合せ				
	18	第1回藤の花・しがらきの湯合同運営推進会議				
	22	計画サポートミーティング				
	24	一番館・しがらきの湯・藤の花三部門合同ミーティング				
	24	安全衛生委員会、住まいる藤ミーティング				
	25	ケアマネミーティング				
	26	サ高住ミーティング、藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング				
5月	1	ホームヘルプミーティング	10	精神保健福祉地域支援研修 主催：神奈川県精神保健福祉センター 「アンガーマネジメントの基礎」～怒りと上手に付き合う～	9	藤沢市住まいと暮らし連絡会
	3	運営会議	11	賢い施設の選び方 主催：ふれあいグループ	8	10, 17, 28 認定NPO法人市民福祉団体全国協議会（市民協） 及び 一般社団法人市民福祉協議会（CWC）理事会
	6	しがらきリーダー会議	17	家族信託 主催：藤沢市村岡包括支援センター	9	藤沢市個人情報保護制度運営審議会
	7	部門代表会議	16	第1回藤沢市精神障がい者地域生活支援連絡会研修	14	江戸川総合人生大学 講師
	7	研修プロジェクト		主催：藤沢市精神障がい者地域生活支援連絡会	16	ヨロシクまるだいきーティナー終活セミナー講師
	8	一番館リーダー会議、まるだいきッチンボラスタッフ会議	27	ケアマネサロン 弁護士に聞きたい！	21	民間介護事業推進委員会
	10	防災委員会		主催：藤沢市鶴沼南、村岡包括支援センター	21	生活支援コーディネーター連絡会
	11	第2回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議	29	衛生講習会 主催：藤沢保健所	22	協議体打合せ
	16	ヨロシクまるだいきーティナー会議	30	ACPIに基づいた高齢者救急医療 主催：藤沢市医師会	29	藤沢地区ささえあい会議
	20	2018年度監査	30	コミュニケーション研修 主催：かながわ共同会 愛名やまゆり園		
	20	藤の花リーダー会議	30	地域ケア会議研修会 主催：藤沢市地域包括ケアシステム推進室		
	21	厨房ミーティング				
	22	一番館・しがらきの湯・藤の花三部門合同ミーティング				
	22	ケアマネミーティング				
	24	サ高住ミーティング、藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング				
	25	オレンジまるだいきーティング				
	28	税理士打合せ、ホームヘルプミーティング				
	31	運営会議				
6月	3	しがらきリーダー会議	6	記録書の書き方～グループホームでの記録の意義と重要性～	6	15, 21, 26, 27 認定NPO法人市民福祉団体全国協議会 及び 一般社団法人市民福祉協議会（CWC）理事会
	4	部門代表会議		主催：かながわ福祉サービス振興会	11	生活支援コーディネーター連絡会
	5	一番館リーダー会議	15	市民協2019年度総会記念セミナー 主催：市民協	13	藤沢市個人情報保護制度運営審議会
	8	第15回（通算第27回）通常総会	17	多職種研修会「助の概念の在り方」 主催：藤沢市在宅支援センター	17	民間介護事業推進委員会
	10	居住支援ミーティング	19	第2回障害者グループホーム職員研修 主催：かながわ福祉サービス振興会 「本人の意思～グループホームでの意思決定支援について～」	19	ふじさわ福祉NPO法人連絡会
	12	ヨロシクまるだいきッチンボラスタッフ会議	26	精神障害GHにおける医療との連携 主催：かながわ福祉サービス振興会	27	湘南オレンジカフェ連絡会
	13	第3回ヘルパー会議・スタッフ会議	30	自閉症児者支援を学ぶ 主催：藤沢市発達障がい者相談支援事業所リポート	27	障害者相談支援連絡会
	17	事務局会議、藤の花リーダー会議				
	20	花どけいNo. 92発行				
	20	防災委員会				
	20	税理士打合せ				
	20	ヨロシクまるだいきーティナー会議				
	20	マハロスタッフ会議				
	23	厨房ミーティング				
	24	第1回理事会				
	26	一番館・しがらきの湯・藤の花三部門合同ミーティング				
	26	第2回藤の花・しがらきの湯合同運営推進会議				
	28	評価プロジェクト				
	28	サ高住ミーティング				
	28	藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング				
	29	オレンジまるだいきーティング				
	29	交流会				
7月	2	ホームヘルプミーティング	5	6相談支援専門員専門コース別研修「地域移行・地域支援」	4	藤沢市住まいと暮らし連絡会
	5	運営会議		主催：かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク	3	10, 17, 24, 31 認定NPO法人市民福祉団体全国協議会 及び 一般社団法人市民福祉協議会（CWC）理事会
	6	一番館運営懇談会	11	第4回障害者グループホーム職員研修「利用者の高齢化と介護保険への移行の仕方」 主催：障害者グループホームサポートセンター	16	生活支援コーディネーター連絡会
	9	部門代表会議	18	「住宅セーフティネット制度について」～居住支援の取り組みの実際～	20	地域包括ケアシンポジウム
	10	ヨロシクまるだいきッチンボラスタッフ会議		主催：藤沢市精神障がい者地域生活支援連絡会	25	湘南オレンジカフェ連絡会
	12	23 評価プロジェクト	18	睡眠預金 主催：市民協	31	令和元年度第1回藤沢市地域精神保健福祉連絡協議会
	13	第4回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議	18	ご存知！三太郎で介護予防 支援者のためのセミナー		
	15	藤の花リーダー会議		主催：（公財）かながわ健康財団		
	23	厨房ミーティング	20	21地域包括ケアシンポジウム		
	24	一番館・しがらきの湯・藤の花三部門合同ミーティング	23	第5回障害者グループホーム職員研修「利用者の性に関する支援」		
	24	ケアマネミーティング		主催：障害者グループホームサポートセンター		
	25	税理士打合せ	24	ストレスマネジメントセミナー		
	25	ヨロシクまるだいきーティナー会議				
	26	サ高住ミーティング				
	26	藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング				
	27	オレンジまるだいきーティング				
	30	ホームヘルプミーティング				
8月	1	20 こどもまるだいきーティング	1	藤沢市住まいと暮らし連絡会施設見学「湘南希望の郷」	1	藤沢市住まいと暮らし連絡会
	2	運営会議		主催：藤沢市住まいと暮らし連絡会	5	特定処遇改善加算説明会
	5	しがらきリーダー会議	5	福祉介護職員等特定処遇改善加算について 主催：神奈川県子どもみらい局	7	14, 21, 28 認定NPO法人市民福祉団体全国協議会 及び 一般社団法人市民福祉協議会（CWC）理事会
	7	部門代表会議	6	せつげん学習会 主催：研修P J、ヨロシクまるだいきーティング	8	藤沢市個人情報保護制度運営審議会
	7	ヨロシクまるだいきッチンボラスタッフ会議	8	食事サポーター講座 主催：NPO法人から食べる幸せを守る会	8	地域包括ケア会議
	8	居住支援ミーティング	10	地域包括ケア会議 主催：藤沢市村岡包括支援センター	20	ふじさわ福祉NPO法人連絡会
	11	第5回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議	10	ハラメント研修 主催：研修P J	23	藤沢地区地域ささえあい会議
	15	第3回藤の花・しがらきの湯合同運営推進会議	10	竹内先生の介護講座 主催：研修P J	30	コンフォール藤沢夏まつり
	15	マハロスタッフ会議	27	第7回障害者グループホーム職員研修 主催：かながわ福祉サービス振興会 「精神障害の理解～生活のしづらさの理解とグループホームでの関わり方」	30	生活支援コーディネーター連絡会
	19	防災対策本部検討会				
	21	厨房会議				
	22	ヨロシクまるだいきーティナー会議				
	22	29 住まいる隊会議				
	23	サ高住ミーティング				
	26	計画サポートミーティング、事務局会議				
	27	税理士打合せ、厨房ミーティング				
	28	一番館・しがらきの湯・藤の花三部門合同ミーティング				
	28	ケアマネミーティング				
	30	藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング				
	31	オレンジまるだいきーティング				
9月	2	防災対策本部検討会	5	藤沢市住まいと暮らし連絡会特養施設見学「共生会・カメラアふじさわ」	4	11, 18, 24 認定NPO法人市民福祉団体全国協議会 及び 一般社団法人市民福祉協議会（CWC）理事会
	3	ホームヘルプミーティング		主催：藤沢市住まいと暮らし連絡会	12	藤沢市個人情報保護制度運営審議会
	6	運営会議	7	精神保健研修「心の病～身近な病気～」 主催：研修P J	29	ボランティアすみれ会議
	10	部門代表会議	9	スキルアップ研修「口腔ケアについて」 主催：研修P J		
	10	17, 24 花どけい編集委員会	12	「一人暮らしの高齢者の終活～後見のはなし～」		
	11	ヨロシクまるだいきッチンボラスタッフ会議		主催：藤沢市村岡包括ケアマネサロン		
	11	一番館リーダー会議	13	スキルアップ研修「支援者のストレスマネジメント」 主催：研修P J		
	14	第6回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議	13	第10回地域協働会議「8050問題についてワールドカフェで考えよう」		
	16	藤の花リーダー会議		主催：藤沢病院		
	17	住まいる藤定例会議	13	「心理的瑕疵をめぐる裁判例から」 主催：神奈川県居住支援協議会		
	20	税理士打合せ	14	法令遵守 主催：研修P J		
	21	防災訓練	14	「須藤先生の水中運動講座」 主催：アクアティ菜の花		
	24	第2回理事会	16	食品衛生責任者研修 主催：神奈川県食品衛生協会		
	24	厨房ミーティング	17	スキルアップ研修「ソフト食とは？ミニ調理実習と試食会」 主催：研修P J		
	25	一番館・しがらきの湯・藤の花三部門合同ミーティング	19	20居住支援セミナー「居住支援法人の課題と対策」 主催：市民協		
	26	ケアマネミーティング	26	えほめいく事例検討会 主催：えほめいく		
	27	藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング	26	スキルアップ研修「介護予防運動指導員が教えるフレイル体操&美Body」		
	27	サ高住ミーティング		主催：研修P J		
	28	オレンジまるだいきーティング				

月	日	内 部 活 動	日	研 修、学 習	日	外 部 活 動
10月	1	ホームヘルプミーティング	10	かながわ共同会 愛名やまゆり園セミナー「アンガーマネジメント」 主催：愛名やまゆり園	2	9, 16, 23, 30 認定NPO法人市民福祉団体全国協議会 及び 一般社団法人市民福祉協議会（CWC）理事会
	4	運営会議、しがらきリーダー会議	11	VRで見る認知症の人の世界 主催：パナソニックエイジフリーショップ	3	生活支援コーディネーター連絡会
	8	15, 29 住まいる隊会議	18	高齢者の生活を守る～詐欺被害、行方不明、高齢者ドライバーについて～ 主催：ケアマネ連絡協議会	3	藤沢市住まいと暮らし連絡会
	8	部門代表会議	19	傾聴セミナー「コミュニケーションの極意は傾聴力」	10	藤沢市個人情報保護制度運営審議会
	9	一番館リーダー会議	22	薬と健康の週間イベント「薬剤師をより身近に」「孤立による薬物依存」 主催：藤沢市薬剤師会	15	ふじさわ福祉NPO法人連絡会
	12	第7回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議	22	共に考える居住支援 主催：住まいる藤	19	日本サードセクター経営者協会「起業塾について」講師
	12	花どけいNo. 93発行	28	スキルアップ研修「良い印象を与える電話対応マナー～言葉使いの 注意点・敬語の基本」主催：研修PJ	25	藤沢市子ども家庭課にて情報交換
	15	事務局会議	30	鶴沼地区団体交流会「つながろう鶴沼」主催：藤沢市鶴沼包括支援センター	28	協議体全体大会
	16	厨房会議				
	17	第4回藤の花・しがらきの湯合同運営推進会議				
	17	住まいる藤定例会議、こどもまるだいまーティング				
	17	まるだいまーシャベリ会				
	18	ヨロシクまるだいまーコーディネーター会議				
	21	藤の花リーダー会議				
	22	厨房ミーティング				
	23	一番館・しがらきの湯・藤の花三部門合同ミーティング				
	24	ケアマネミーティング				
	25	サ高住ミーティング、藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング				
	29	安全衛生委員会、ホームヘルプミーティング				
	29	税理士打合せ				
11月	1	運営会議	7	第1回理事長と語る会 主催：研修PJ	6	13, 20, 27 認定NPO法人市民福祉団体全国協議会 及び 一般社団法人市民福祉協議会（CWC）理事会
	2	ホームヘルプミーティング	9	個人情報とプライバシー 主催：研修PJ	7	藤沢市住まいと暮らし連絡会
	4	しがらきリーダー会議	11	第2回理事長と語る会 主催：研修PJ	14	藤沢市個人情報保護制度運営審議会
	5	部門代表会議	12	介護施設における栄養ケアマネジメント 主催：Care TEX One 事務局	15	協議体
	6	一番館リーダー会議	13	第3回理事長と語る会 主催：研修PJ	19	湘南平塚看護学校「在宅看護論」講師
	9	第8回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議	15	～1/19「根拠ある介護」研修 主催：市民協		
	12	交流会企画委員会	19	第4回理事長と語る会 主催：研修PJ		
	12	研修プロジェクト	20	喀痰吸引・胃ろう研修 主催：神奈川県		
	12	こどもまるだいまーティング	21	知っていますか？個人情報～個人情報に関する法律～ 主催：藤沢市精神障害者地域生活支援連絡会		
	18	藤の花リーダー会議	22	南部グループ会議～ケアプラン点検の経験を生かした事例検討会 主催：ケアマネ連絡協議会		
	19	住まいる藤定例会議	22	第5回理事長と語る会 主催：研修PJ		
	21	ヨロシクまるだいまーコーディネーター会議	22	誰も残さない災害対策 主催：藤沢市		
	21	まるだいまーシャベリ会	25	第6回理事長と語る会 主催：研修PJ		
	22	サ高住ミーティング	28	第7回理事長と語る会 主催：研修PJ		
	22	藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング	29	住宅セーフティネット制度説明会横浜「不動産店とつながって居住支援」 主催：神奈川県居住支援協議会		
	26	防災委員会	30	「認知症の方への接し方～正しい知識と優しい寄り添い方～」 主催：ボランティアすみれ 共催：研修PJ		
	26	税理士打合せ				
	27	一番館・しがらきの湯・藤の花三部門合同ミーティング				
12月	2	ホームヘルプミーティング	2	自殺対策基礎研修 主催：神奈川県精神保健福祉センター	4	5, 11, 18, 25 認定NPO法人市民福祉団体全国協議会 及び 一般社団法人市民福祉協議会（CWC）理事会
	3	厨房ミーティング	3	住宅セーフティネット制度説明会平塚「不動産店とつながって居住支援」 主催：神奈川県居住支援協議会	12	藤沢市個人情報保護制度運営審議会
	3	住まいる隊会議	14	コミュニケーション研修 主催：藤沢市住まいと暮らし連絡会・ 神奈川県知的障害福祉協会湘南東部地区	14	藤沢市分庁舎落成式典
	6	運営会議	14	市民講演会「高齢化するひきこもり」 主催：藤沢市精神障がい者地域生活支援連絡会・藤沢市保険予防課	16	生活支援コーディネーター連絡会
	9	しがらきリーダー会議	26	第3回食事サポーター講座 主催：NPO法人口から食べる幸せを守る会	17	ふじさわ福祉NPO法人連絡会
	10	部門代表会議			19	相談支援連絡会
	11	一番館リーダー会議			26	民間介護事業推進委員会
	14	第9回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議				
	16	安全衛生委員会				
	16	藤の花リーダー会議				
	17	住まいる藤定例会議				
	19	第5回藤の花・しがらきの湯合同運営推進会議				
	19	厨房会議				
	19	ヨロシクまるだいまーコーディネーター会議				
	20	税理士打合せ				
	24	第3回理事会				
	24	厨房ミーティング				
	24	ホームヘルプミーティング				
	25	一番館・しがらきの湯・藤の花三部門合同ミーティング				
	26	ケアマネミーティング				
	27	サ高住ミーティング				
	27	藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング				
1月	3	7, 31 運営会議	9	地域福祉コーディネーター養成講演会「地域支援のかたち」 主催：神奈川県平塚保健福祉事務所	5	藤沢市賀詞交歓会
	5	一番館リーダー会議	16	コミュニティソーシャルワーカーの活動 主催：藤沢市精神障がい者地域生活支援連絡会・藤沢市保険予防課	8	15, 22, 23, 29 認定NPO法人市民福祉団体全国協議会 及び 一般社団法人市民福祉協議会（CWC）理事会
	6	しがらきリーダー会議、花どけいNo. 94発行	20	共に考える居住支援part2 主催：住まいる藤	9	藤沢市住まいと暮らし連絡会
	7	部門代表会議	25	救命救急講習会 主催：研修PJ	12	コンフォール藤沢自治会「新春のつどい」
	8	ヨロシクまるだいまーメニュー会議	27	当事者主体を考える～ベテルの家～	14	生協新年会
	11	第10回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議、新年会	28	大阪オレンジジョブ見学研修 主催：住まいる藤	20	20, 22, 23, 28, 30 藤沢市第3回介護スタッフ研修 講師・対応等
	13	こどもまるだいまーティング	29	ケアマネ資質向上研修「医療連携を学ぶ」 主催：ケアマネ連絡協議会	28	生活支援コーディネーター連絡会
	14	住まいる藤定例会議			30	湘南オレンジカフェ連絡会
	16	ヨロシクまるだいまーコーディネーター会議				
	17	事務局会議				
	20	居住支援セミナー				
	20	藤の花リーダー会議				
	22	一番館・しがらきの湯・藤の花三部門合同ミーティング				
	23	ケアマネミーティング				
	24	サ高住ミーティング、藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング				
	28	厨房ミーティング				
	29	ホームヘルプミーティング				
	30	税理士打合せ				
2月	5	一番館リーダー会議	2	藤沢市住まいと暮らし連絡会施設見学「藤沢病院他」 主催：藤沢市住まいと暮らし連絡会	1	新春のつどい
	7	しがらきの湯スタッフ会議	13	在宅医療多職種連携「かかりつけ医と連携して在宅生活を支援」	3	障害サービス指導講習会
	8	第11回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議	14	介護ケアフードショー 主催：ブティックス(株)	4	協議体打ち合わせ
	8	一番館スタッフ会議	17	ボイストレーニングリハビリ 主催：クローバーヴィラ	12	19, 26認定NPO法人市民福祉団体全国協議会、 一般社団法人市民福祉協議会（CWC）理事会及び厚労省
	13	こどもまるだいまーティング	19	第11回地域協働会議「8050問題についてワールドカフェで考えよう」 主催：藤沢病院	13	協議体
	13	第6回藤の花・しがらきの湯合同運営推進会議	20	「How toではなくWhyの面談をしていますか」 主催：湘南東部地区障がい者就労支援推進協議会	13	藤沢市個人情報保護制度運営審議会
	17	藤の花リーダー会議	21	「栄養・食事よもやま話」 主催：藤沢市介護保険事業所連絡会	14	介護食展示会
	17	計画サポートミーティング			18	ふじさわ福祉NPO法人連絡会
	17	事務局会議			19	20佐賀県「地域づくり、街づくりと介護保険のこれから」講師
	20	マハロスタッフ会議			25	フードバンク打ち合わせ
	20	ヨロシクまるだいまーコーディネーター会議				
	25	厨房ミーティング				
	26	一番館・しがらきの湯・藤の花三部門合同ミーティング				
	27	ケアマネミーティング				
	27	サ高住ミーティング				
	28	藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング				
3月	3	ホームヘルプミーティング			2	4, 11, 17, 24, 25認定NPO法人市民福祉団体全国協議会、 一般社団法人市民福祉協議会（CWC）理事会及び厚労省
	7	一番館スタッフ会議			12	藤沢市個人情報保護制度運営審議会
	7	しがらきの湯リーダー会議			19	佐賀未来創造基金と協定締結
	11	一番館リーダー会議			24	生活支援コーディネーター連絡会
	13	しがらきの湯スタッフ会議				
	19	ヨロシクまるだいまーコーディネーター会議				
	24	厨房ミーティング				
	25	一番館・しがらきの湯・藤の花三部門合同ミーティング				
	25	ヨロシクまるだいまーメニュー会議				
	26	ケアマネミーティング				
	27	サ高住ミーティング、藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング				
	30	事務局会議				

災害時駆けつけMAP (一番館・二番館共通)

《MAP外》

円行	2名
大庭	1名
亀井野	1名
片瀬	1名
鵜沼方面	13名
下土棚	2名
善行	1名
長後	1名
辻堂方面	16名
天神町	2名
羽鳥	1名
大磯町	1名
横浜市	2名
鎌倉市	4名
相模原市	1名
茅ヶ崎市	3名
平塚市	2名
座間市	1名

